PC98-NXシリーズ

NEC

Mate/Mate J

はじめにお読みください

スリムタワー型(高拡張性タイプ)、スリムタワー型(高機能タイプ)、
スリムタワー型(スタンダードタイプ)、スリムタワー型(バリュータイプ)
(Windows XP Professionalインストールモデル)
(Windows XP Home Editionインストールモデル)

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
梱包箱を開けたら、まず本書の手順通り操作してください。

本書では、特にことわりのない場合、Windows XP Professional、およびWindows XP Home Editionを、総称してWindows XPと表記します。

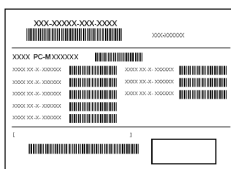
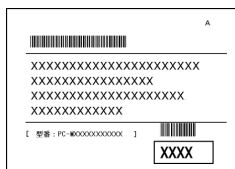
なお、本書に記載のイラストはモデルにより異なります。

操作の流れ

1 型番を控える

型番を控える

梱包箱のステッカーに記載されているスマートセレクション型番（15桁の型番です）、またはフリーセレクション型番（フレーム型番とコンフィグオプション型番）を、このマニュアルに控えておきます。型番は添付品の確認や、再セットアップをするときに必要になりますので、必ず控えておくようにしてください。

フリーセレクション型番の場合は、型番を控えておかないと、梱包箱をなくした場合に再セットアップに必要な情報が手元に残りません。

左が「スマートセレクション型番」、右が「フリーセレクション型番」のステッカーです。
スマートセレクション型番のステッカーの場合は、「スマートセレクション型番を控える」へ、フリーセレクション型番のステッカーの場合は、p.6「フリーセレクション型番を控える」へ進んでください。

スマートセレクション型番を控える

スマートセレクション型番を控えます。控え終わったら、p.11「2　添付品の確認」へ進んでください。

1. スマートセレクション型番を次の枠に控える

PC-M❶□❷□□❸□❹□❺□❻□❼□❽□❾□G

□の意味は次の通りです。

❶モデルの種類を表しています。

✓	型　番	モデル
	Y	Mate
	J	Mate J

❷CPUのクロック周波数の種類を表しています。

✓	型　番	クロック周波数
	25	2.53GHz
	28	2.80GHz
	30	3GHz
	32	3.20GHz
	34	3.40GHz
	36	3.60GHz

❸CPUの種類を表しています。

✓	型　番	CPU
	V、またはY	インテル® Pentium® 4 プロセッサ
	X	インテル® Celeron® D プロセッサ

❹本体の型の種類を表しています。

✓	型　番	本体の型
	C	スリムタワー型（高機能タイプ）
	G	スリムタワー型（高拡張性タイプ）
	L	スリムタワー型（スタンダードタイプ）
	R	スリムタワー型（バリュータイプ）

❺ディスプレイの種類を表しています。

✓	型　番	ディスプレイ
	B	LCD52VM-R
	C	LCD92VM-R
	L	F15K02
	S	LCD72VM-R
	T	F17M02-R
	Z	なし
	7	FE770

❻インストールOS、選択アプリケーションの種類を表しています。

✓	型　番	インストールOS	選択アプリケーション
	E	Windows XP Professional	なし
	J		Office Personal 2003
	U	Windows XP Home Edition	なし
	W		Office Personal 2003

❼FDD、CD-ROM系、キーボード、マウスの種類を表しています。

✓	型番	FDD	CD-ROM系	キーボード、マウス
	D	FDD	CD-R/RW with DVD-ROM	PS/2 109キーボード&PS/2マウス
	T		CD-ROM	

❽通信機能、合計メモリの容量、グラフィックアクセラレータ、再セットアップ用媒体の種類を表しています。

✓	型番	通信機能	合計メモリの容量	グラフィックアクセラレータ	再セットアップ用媒体
	E	LAN	256MB（256MB×1）	RADEON X300 SE（スリムタワー型（高拡張性タイプ）の場合）、Geforce4MX440（スリムタワー型（高機能タイプ）の場合）	再セットアップ用CD-ROM添付
	5		512MB（256MB×2）		
	8		1GB（512MB×2）		
	J		256MB（256MB×1）	チップセットに内蔵	
	M		512MB（256MB×2、または512MB×1）		
	9		1GB（512MB×2）		
	C		256MB（256MB×1）	RADEON X300 SE（スリムタワー型（高拡張性タイプ）の場合）、Geforce4MX440（スリムタワー型（高機能タイプ）の場合）	再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納
	G		512MB（256MB×2）		
	N		1GB（512MB×2）		
	S		256MB（256MB×1）	チップセットに内蔵	
	U		512MB（256MB×2、または512MB×1）		
	X		1GB（512MB×2）		

注意1 グラフィックアクセラレータの種類は、スリムタワー型(高拡張性タイプ)、スリムタワー型(高機能タイプ)に設定されたメニューです。スリムタワー型(スタンダードタイプ)、スリムタワー型(バリュータイプ)には設定されていません。

注意2 RADEON X300 SEを選択した場合、インターフェイスがDVI-Dのデジタル液晶ディスプレイと接続するには、別売の専用コネクターDVI-D（メス）デジタルディスプレイケーブル（PC-MA-K29）が必要です。

注意3 GeForce4 MX440を選択した場合、インターフェイスがDVI-Dのデジタル液晶ディスプレイと接続するには、別売の専用コネクターDVI-D（メス）デジタルディスプレイケーブル（PC-MA-K23）が必要です。

❾ハードディスクの容量、筐体アクセントカラーの種類を表しています。

✓	型番	ハードディスクの容量	筐体アクセントカラー
	B	40GB	標準色
	E	40GB	エレガントシルバー
	8	80GB	標準色
	9	80GB	エレガントシルバー

注意　標準色は、スリムタワー型(高拡張性タイプ)の場合、シルキーブラックに、スリムタワー型(高機能タイプ)、スリムタワー型(スタンダードタイプ)の場合、エレガントブルーになります。

注意　筐体アクセントカラーの種類はスリムタワー型(バリュータイプ)には設定されていません。

※上記の❶〜❾のすべての組み合わせが実現できているわけではありません。

以上で型番を控えるは完了です。
次にp.11「2　添付品の確認」へ進んでください。

フリーセレクション型番を控える

フレーム型番とコンフィグオプション型番を控えます。控え終わったら、p.11「2　添付品の確認」へ進んでください。

1. フレーム型番を次のチェック表にチェックする

□の意味は次の通りです。

❶ モデルの種類を表しています。

✓	型　番	モデル
	Y	Mate
	J	Mate J

❷CPUのクロック周波数の種類を表しています。

✓	型　番	クロック周波数
	25	2.53GHz
	28	2.80GHz
	30	3GHz
	32	3.20GHz
	34	3.40GHz
	36	3.60GHz

❸CPUの種類を表しています。

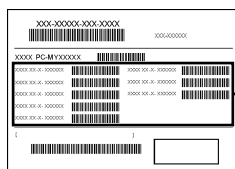
✓	型　番	CPU
	V、またはY	インテル® Pentium® 4 プロセッサ
	X	インテル® Celeron® D プロセッサ

❹本体の型の種類を表しています。

✓	型　番	本体の型
	C	スリムタワー型(高機能タイプ)
	G	スリムタワー型(高拡張性タイプ)
	L	スリムタワー型(スタンダードタイプ)
	R	スリムタワー型(バリュータイプ)

❺インストールOSの種類を表しています。

✓	型　番	インストールOS
	E	Windows XP Professional
	U	Windows XP Home Edition

2. コンフィグオプション型番を次のチェック表にチェックする

次のコンフィグオプション(以降、COPと略します)型番はどのモデルにも必須でステッカーには必ず記載されている選択必須と選択したモデルやオプションによってステッカーに記載される選択任意のものがあります。また、ステッカーに記載されているCOP型番は順不同になっています。
COP型番に記載されている英数字の意味は次の通りです。

❶PC-D-KB□□□□、 PC-E-KB□□□□はキーボード、マウスを表しています(選択必須)。

✓	型　番	キーボード、マウス
	PS28	PS/2 109キーボード&PS/2マウス
	USL9	USB 109キーボード&光センサーUSBマウス
	10T8	テンキー付きPS/2 小型キーボード&PS/2マウス
	10L9	テンキー付きUSB小型キーボード&光センサーUSBマウス

❷PC-D-1H□□□□、PC-E-1H□□□□は内蔵3.5インチベイに搭載されるハードディスクの容量を表しています(選択必須)。

✓	型　番	ハードディスクの容量
	016D、またはG16D	160GB
	040D、またはG40D	40GB
	080D、J80D、G80DまたはV80D	80GB
	D16D、またはT16D	160GB×2
	D40D、またはT40D	40GB×2
	D80D、またはT80D	80GB×2
	R12D	120GB×2(RAID1)
	R40D	40GB×2(RAID1)
	R80D	80GB×2(RAID1)

❸PC-D-ME□□□□、PC-E-ME□□□□は合計メモリの容量を表しています(選択必須)。

✓	型　番	合計メモリの容量
	G10D	DDR2 SDRAM　1GB(512MB×2)
	G20B	DDR2 SDRAM　2GB(1GB×2)
	T25D	DDR2 SDRAM　256MB(256MB×1)
	G51D	DDR2 SDRAM　512MB(256MB×2)
	T51D	DDR2 SDRAM　512MB(512MB×1)
	W10D、またはR10D	DDR SDRAM　1GB(512MB×2)
	W20D	DDR SDRAM　2GB(1GB×2)
	C25D、またはR25D	DDR SDRAM　256MB(256MB×1)
	W51D	DDR SDRAM　512MB(256MB×2)
	C51D、またはR51D	DDR SDRAM　512MB(512MB×1)

❹PC-D-CD□□□□、PC-E-CD□□□□はCD-ROM系(セカンダリマスタ)を表しています(選択必須)。

✓	型　番	CD-ROM系
	CDD8、またはSCDF	CD-ROM
	FRDG、SRDG、またはLRDG	CD-R/RW with DVD-ROM
	FDSG、またはSDSG	DVDスーパーマルチドライブ

❺PC-D-NE□□□□、PC-E-NE□□□□は通信機能を表しています(スリムタワー型(高拡張性タイプ)、スリムタワー型(バリュータイプ)は選択任意、その他はなし)。

✓	型　番	通信機能
	LAA3	標準ギガビットイーサネットLAN+LAN
	LAG3	標準LAN+ギガビットイーサネットLAN
	MDE9	標準LAN+FAXモデム
	WLY4	標準ギガビットイーサネットLAN+無線LAN(IEEE802.11a/b/g)

❻PC-D-AC□□□5、PC-E-AC□□□5は筐体アクセントカラーを表しています（選択任意、スリムタワー型（バリュータイプ）はなし）。

✓	型　番	筐体アクセントカラー
	BVY	シルキーブラック
	GEY	シルキーグリーン
	BLC、またはBLL	エレガントブルー
	GEC、またはGEL	エレガントグリーン
	SLC、SLL、またはESY	エレガントシルバー
	WDC	木目調

❼F□□□□□-D、F□□□□□-L、LCD□□□□□-D、LCD□□□□□-L、またはLCD□□□□□-RLはディスプレイの種類を表しています（選択任意）。

✓	型　番	ディスプレイ
	F15K02	F15K02
	F17M02-R	F17M02-R
	FE770	FE770
	LCD52VM-R	LCD52VM-R
	LCD72VM-R	LCD72VM-R
	LCD92VM-R	LCD92VM-R

注意　ディスプレイの箱、保証書、銘板、添付のマニュアルには「-D」、「-L」、または「-RL」が書かれていませんが、同じ商品です。

❽PC-D-AP□□□□、PC-E-AP□□□□は選択アプリケーションの種類を表しています（選択任意）。

✓	型　番	選択アプリケーション
	HSE8、LSE8、またはSSE8	Office Personal 2003
	SPE9	Office Professional Enterprise 2003

❾PC-D-2H□□□6、PC-E-2H□□□6は内蔵3.5インチベイに搭載される、増設ハードディスク（プライマリスレーブ）/ミラーリング用IDE-RAIDボード、StandbyDiskを表しています（選択任意、スリムタワー型（バリュータイプ）はなし）。

✓	型　番	増設ハードディスク/ミラーリング用IDE-RAIDボード
	SD0	StandbyDisk
	SAD、またはYAD	ミラーリングIDE-RAIDボード

⑩ PC-D-GR□□□4、PC-E-GR□□□4はグラフィックアクセラレータを表しています(スリムタワー型(高拡張性タイプ)、スリムタワー型(高機能タイプ)は選択任意、その他はなし)。

✓	型 番	グラフィックアクセラレータ
	DVC、またはDVE	デジタルディスプレイ用コネクタボード(DVI-D)
	GE4	GeForce4 MX440
	RAE	RADEON X300 SE

注意1 GeForce4 MX440を選択した場合、インターフェイスがDVI-Dのデジタル液晶ディスプレイと接続するには、別売の専用コネクターDVI-D(メス)デジタルディスプレイケーブル(PC-MA-K23)が必要です。

注意2 RADEON X300 SEを選択した場合、インターフェイスがDVI-Dのデジタル液晶ディスプレイと接続するには、別売の専用コネクターDVI-D(メス)デジタルディスプレイケーブル(PC-MA-K29)が必要です。

⑪ PC-D-SP□□□8、PC-E-SP□□□8は再セットアップ用媒体を表しています(選択任意)。

✓	型 番	再セットアップ用媒体
	BCH	再セットアップ用CD-ROM (Windows XP Home Editionモデル専用)
	BCX	再セットアップ用CD-ROM (Windows XP Professionalモデル専用)

以上で型番を控えるは完了です。
次のページの「2　添付品の確認」へ進んでください。

2 添付品の確認

添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず添付品が揃っているかどうか、このチェックリストを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にご連絡ください。

梱包箱には、このチェックリストに記載されていない注意書きの紙などが入っている場合がありますので、本機をご使用いただく前に必ずご一読ください。また、紛失しないよう、保管には充分気を付けてください。

❶箱の中身を確認する

p.2の1またはp.6の1、p.7の2の型番を参照すると、よりわかりやすくなります。

□ は、各々1つにパックされています。

□**保証書(本体梱包箱に貼り付けられています)**

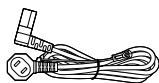
保証書は、ご購入元で所定事項をご記入の上、お受け取りになり、保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、ご購入元、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

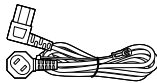
□はじめにお読みください(このマニュアルです)

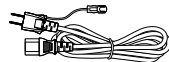
□本体(ディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まないMate、またはMate Jを指します)

□キーボード　□マウス

スリムタワー型（高拡張性タイプ）の場合添付

□サービスコンセント付き電源コード

スリムタワー型（高機能タイプ）、スリムタワー型（スタンダードタイプ）の場合添付

□サービスコンセント付き電源コード

スリムタワー型（バリュータイプ）の場合添付

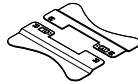
□電源コード

□ケーブルストッパ

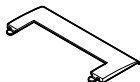
□ネジ（1個）

スリムタワー型（高拡張性タイプ）、スリムタワー型（高機能タイプ）、スリムタワー型（スタンダードタイプ）の場合添付

□スタビライザ（2個）

スリムタワー型（バリュータイプ）の場合添付

□スタビライザ（2個）

スリムタワー型（高拡張性タイプ）の場合添付

□3.5型ベイデバイスカバー

スリムタワー型（高機能タイプ）、スリムタワー型（スタンダードタイプ）の場合添付

□ネジ（4個）　注

注 増設ハードディスクを取り付けるときに使います。

□ソフトウェアのご使用条件（お客様へのお願い）
（箱の中身を確認後必ずお読みください）

□ソフトウェア使用条件適用一覧/添付ソフトウェアサポート窓口一覧
（箱の中身を確認後必ずお読みください）

□アプリケーションCD-ROM／マニュアルCD-ROM

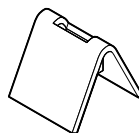
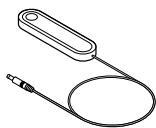
□セキュリティチップユーティリティCD-ROM
（スリムタワー型（高拡張性タイプ）、スリムタワー型（高機能タイプ）、スリムタワー型（スタンダードタイプ）でWindows XP Professionalモデルの場合添付）

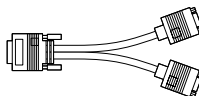
□安全にお使いいただくために

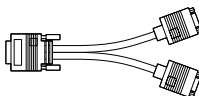
□活用ガイド　再セットアップ編

□保証規定&修理に関するご案内

無線LANを選択したスリムタワー型（高拡張性タイプ）の場合添付

□ 無線LAN用外付けアンテナ　□ スタンド

RADEON X300 SEを選択したスリムタワー型（高拡張性タイプ）の場合添付

□アナログケーブル
（デュアルディスプレイ対応）

GeForce4 MX440を選択したスリムタワー型（高機能タイプ）の場合添付

□アナログケーブル（Twin View用）

FAXモデムを選択したスリムタワー型（バリュータイプ）の場合添付

□電話回線ケーブル（モジュラーケーブル）

再セットアップ用媒体を選択した場合添付

□再セットアップ用CD-ROM

CD-ROM系の種類がCD-R/RW with DVD-ROM、
またはDVDスーパーマルチドライブの場合添付

□WinDVD CD-ROM/Record Now/DLA CD-ROM

増設ハードディスク（StandbyDiskあり）を選択した場合添付

□StandbyDisk 2000-XP Pro v3 CD-ROM
□ユーザー登録書（シリアル番号の記載があります）

アプリケーションを選択した場合添付

□選択アプリケーション
Microsoft® Office Personal Edition 2003、または
Microsoft® Office Professional Enterprise Edition 2003
添付品は、選択アプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。
（p.4 1-❻、またはp.9 2-❽で選択アプリケーションの種類がわかります）

マニュアル

❷ディスプレイがセットになったモデルの場合、ディスプレイの箱の中身については、ディスプレイの箱の中のマニュアルで確認する

（p.3 1-❺またはp.9 2-❼でディスプレイのあるなし、種類がわかります。）

❸本体にある型番、製造番号と保証書の型番、製造番号が一致していることを確認する

PC-MX XXX…XX

万一違っているときは、すぐにご購入元に連絡してください。また保証書は大切に保管しておいてください。

なお、フリーセレクション型番の場合は、フレーム型番のみが表示されています。

以上で添付品の確認は完了です。

次のページの「3　設置場所の決定」へ進んでください。

3 設置場所の決定

設置場所を決める

○ 設置に適した場所

設置に適した場所は次のような場所です。

◆屋内

◆温度10℃～35℃、湿度20％～80％（ただし結露しないこと）

◆平らで十分な強度があり、落下のおそれがない（机の上など）

× 設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機（本体とディスプレイ、キーボードなどを含んだMate、またはMate Jを指します）の故障や破損の原因となります。

◆磁気を発生するもの（扇風機、スピーカなど）や磁気を帯びているものの近く

◆直射日光があたる場所

◆暖房機の近く

◆薬品や液体の近く

◆腐食性ガス（オゾンガスなど）が発生する場所

◆テレビ、ラジオ、コードレス電話、携帯電話、他のディスプレイなどの近く

◆人通りが多くてぶつかる可能性がある場所

◆ドアの開け閉めで、ドアが当たる場所

◆ホコリが多い場所

◆本体背面および側面にある通風孔がふさがる場所

◆ディスプレイの通風孔がふさがる場所

◆テレビ、ラジオなどと同じACコンセントを使う場所

設置場所が決まったら……

設置する場所が決まったら、本機の設置と添付品の接続を行うため、次の点を確認してください。

- 本機は精密機器ですから、慎重に取り扱ってください。乱暴な取り扱いをすると、故障や破損の原因となります。
- 本体およびディスプレイの接続部は、背面にまとまっています。いきなり壁際に本体およびディスプレイを置いてしまうと、うまく接続できません。机などの裏側に回って接続できるような場所を選んでください。
- 通風孔をふさがないようにできるだけ15cm以上のスペースを確保してください。また、キーボードやマウスが余裕を持って操作できる場所も必要です。

本機を移動するときは……

本機に接続している、全てのケーブル、コード（電源コード、アース線など）を取り外してください。本機を持ち上げるときは、左右から手を入れて底面を持ってください。また、移動中に壁などにぶつけたりすると故障や破損の原因となりますので、大切に取り扱ってください。

以上で設置場所の決定は完了です。
次のページの「4　添付品の接続」へ進んでください。

4 添付品の接続

接続するときの注意

- **LANケーブル(別売)、および無線LAN用外付けアンテナは接続しない**

  LANケーブル、および無線LAN用外付けアンテナは、本機を安全にネットワークに接続させるため、Windowsのセットアップ、ファイアウォールの設定を終了させてから接続するようにしてください。
- **本機を接続するときは、コネクタの端子に触れない**

  故障の原因となります。

スリムタワー型(高拡張性タイプ)の場合

1. スタビライザの取り付け

本機には、本体を縦置きで使用する場合に、安定して設置するためのスタビライザと言う脚が添付されています。梱包箱から出したままの状態では、スタビライザは本体に取り付けられていません。縦置きで使用する場合は、転倒防止のため、必ず❶か❷のいずれかの方法でスタビライザを取り付けて設置してください。
また、本体を横置きで使用することもできます。この場合、スタビライザをセットする必要はありません。横置きで使用する場合は、ゴム足がある方を下にして設置してください。また、本体の上に約20kgまでのディスプレイなどを置くことができます。なお、ディスプレイや書類などで、通風孔をふさがないでください。
横置きで使用する場合は、p.19「2.マウス、キーボードを接続する」へ進んでください。

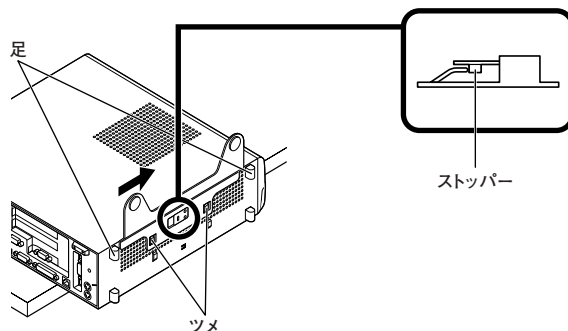
❶スタビライザを2つ取り付ける場合

①机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる

この場合、机やテーブルなどを傷付けたりしないように、厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。

②片方のスタビライザを本体のツメと足に合わせ、スタビライザを矢印方向にストッパがロックされるまでスライドさせる

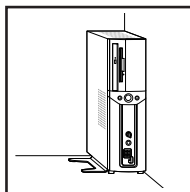
チェック!!

スタビライザを本体に取り付けるときは、指を挟んだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。

③もう一方のスタビライザも②と同じ方法で取り付ける

❷スタビライザを1つ取り付ける場合

次のように、本体の右側を壁などに付けて縦置きで使用する場合は、左側にスタビライザを1つ取り付けることで設置することができます。

本体の左側に通風孔があるため、壁などでふさがないように設置してください。

p.17「❶スタビライザを2つ取り付ける場合」と同じ方法で、左側に1つ取り付ける

1つのスタビライザのみをセットする場合は、転倒防止のため、必ず反対側の側面を壁などにつけて使用してください。

2. マウス、キーボードを接続する

お使いのキーボードにより、❶～❸のいずれかで接続してください。

※ケーブルストッパを利用すると、キーボードの盗難やケーブルの抜け防止に役立ちます。
ケーブルストッパの使い方は、『活用ガイド　ハードウェア編(スリムタワー型(高拡張性タイプ)、スリムタワー型(高機能タイプ)、スリムタワー型(スタンダードタイプ)、スリムタワー型(バリュータイプ))』の「PART3　周辺機器の利用」の「ケーブルストッパ」をご覧ください。

❶USB接続のキーボードを接続する場合(ここではUSB 109キーボードを例に説明します)

①添付のマウスをキーボードに接続する

マウスは、本体のUSBコネクタには接続しないでください。

②キーボードを液晶ディスプレイ、または本体のUSBコネクタに接続する

■液晶ディスプレイに接続する場合

ここではディスプレイ(F17M02-R)がセットになった場合を例に説明します。
液晶ディスプレイの背面にある2つのUSBコネクタの、どちらを使用しても構いません。

■本体(背面)に接続する場合

■本体(前面)に接続する場合

USBケーブルフックにキーボードのケーブルを引っ掛けてから、USBコネクタに接続する

※USBケーブルフックを利用すると、USBケーブルの抜け防止に役立ちます。

チェック!!

アクリルパネルやUSBケーブルフックは、誤ってキーボードのケーブルを強く引くと過度の力がかかり、破損する場合があります。

❷PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではテンキー付きPS/2小型キーボード(縦置き収納型)を例に説明します)

①添付のマウスをキーボードに接続する

②キーボードから出ているマウス(緑)とキーボード(紫)のケーブルを、本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する

❸PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではPS/2 109キーボードを例に説明します)

添付のマウス(緑)、キーボード(紫)を、本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する

3.ディスプレイを接続する

お使いのディスプレイにより、❶または❷のいずれかの方法で接続してください。ディスプレイは、本体とセットになったモデルと別売のモデルがあり、接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

❶アナログ液晶ディスプレイ、またはCRTディスプレイを接続する場合

ここでは、ディスプレイ(F17M02-R)がセットになった場合を例に説明します。

RADEON X300 SEを選択した場合は、①〜⑤の順番に接続してください。

RADEON X300 SEを選択しない場合は、③〜⑤の順番に接続してください。

デュアルディスプレイ機能を使用する場合、ここでは一台目のディスプレイのみを接続してください。二台目のディスプレイは必ずWindowsのセットアップを終了させてから「7　マニュアルの使用方法」までの作業を行い、「8　使用する環境の設定と上手な使い方」の「4.アナログ液晶ディスプレイを二台接続して使用する」をご覧になり、接続してください。

①ディスプレイの背面につながっているアナログRGBケーブルのコネクタを、添付されているアナログケーブル(デュアルディスプレイ対応)のコネクタに接続する

アナログケーブル(デュアルディスプレイ対応)にある2つのコネクタの、1側から使用してください。

②アナログRGBケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする

③RADEON X300 SEを選択した場合は、アナログケーブル(デュアルディスプレイ対応)のもう一方のコネクタを、アイコン( )とコネクタの形状を確認し、本体のRADEON X300 SEのコネクタ(DMS-59)に接続する
RADEON X300 SEを選択しない場合は、ディスプレイの背面につながっているアナログRGBケーブルのコネクタを、アイコン( )とコネクタの形状を確認し、本体のアナログRGBコネクタに接続する

④アナログケーブル(デュアルディスプレイ対応)、またはアナログRGBケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする

⑤アナログ液晶ディスプレイの場合は、さらに、本体とアナログ液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。

❷デジタル液晶ディスプレイを接続する場合

ここでは、ディスプレイ(F17M02-R)がセットになった場合を例に説明します。

①ディスプレイの背面につながっているDVIケーブルのコネクタを、アイコン(⎍)とコネクタの形状を確認し、本体のDVI-Dコネクタに接続する

②DVIケーブルのコネクタに付いているネジでしっかりネジ止めする

③本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。

4. アース線、電源コードを接続する

次のページのイラストを見てアース線、電源コードを接続してください。

❶ディスプレイの電源コードのプラグをサービスコンセント付き電源コードに差し込む

次のページのイラストはアナログ液晶ディスプレイ(F17M02-R)がセットになった場合です。ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

❷本体の電源コードを接続する

①本体にサービスコンセント付き電源コードを接続する

②コンセントのアース端子にアース線を接続する

アース端子部分にはキャップが付いています。接続するときに取り外してください。

③サービスコンセント付き電源コードのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れる場合がありますが、故障ではありません。

以上で添付品の接続は完了です。

p.41「5　Windowsのセットアップ」へ進んでください。

スリムタワー型(高機能タイプ)、スリムタワー型(スタンダードタイプ)の場合

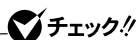
1. スタビライザの取り付け

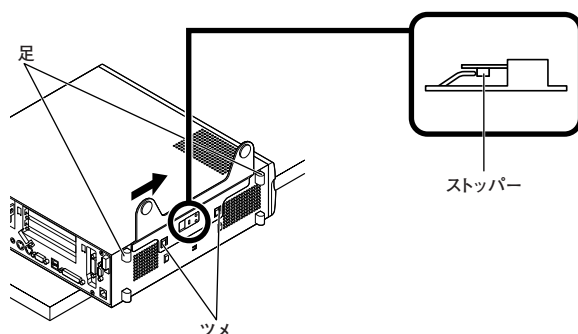
本機には、本体を縦置きで使用する場合に、安定して設置するためのスタビライザと言う脚が添付されています。梱包箱から出したままの状態では、スタビライザは本体に取り付けられていません。縦置きで使用する場合は、転倒防止のため、必ず❶か❷のいずれかの方法でスタビライザを取り付けて設置してください。
また、本体を横置きで使用することもできます。この場合、スタビライザをセットする必要はありません。横置きで使用する場合は、ゴム足がある方を下にして設置してください。また、本体の上に約20kgまでのディスプレイなどを置くことができます。
なお、ディスプレイや書類などで、通風孔をふさがないでください。
横置きで使用する場合は、p.27「2.マウス、キーボードを接続する」へ進んでください。

❶スタビライザを2つ取り付ける場合

①机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる

この場合、机やテーブルなどを傷付けたりしないように、厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。

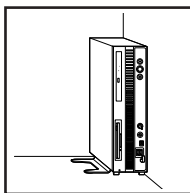
②片方のスタビライザを本体のツメと足に合わせ、スタビライザを矢印方向にストッパがロックされるまでスライドさせる

チェック!!

スタビライザを本体に取り付けるときは、指を挟んだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。

③もう一方のスタビライザも②と同じ方法で取り付ける

❷スタビライザを1つ取り付ける場合

次のように、本体の右側を壁などに付けて縦置きで使用する場合は、左側にスタビライザを1つ取り付けることで設置することができます。

本体の左側に通風孔があるため、壁などでふさがないように設置してください。

p.26「❶スタビライザを2つ取り付ける場合」と同じ方法で、左側に1つ取り付ける

1つのスタビライザのみをセットする場合は、転倒防止のため、必ず反対側の側面を壁などにつけて使用してください。

2. マウス、キーボードを接続する

お使いのキーボードにより、❶～❸のいずれかで接続してください。

※本体背面に接続する場合、ケーブルストッパを利用すると、キーボードの盗難やケーブルの抜け防止に役立ちます。
ケーブルストッパの使い方は、『活用ガイド　ハードウェア編(スリムタワー型(高拡張性タイプ)、スリムタワー型(高機能タイプ)、スリムタワー型(スタンダードタイプ)、スリムタワー型(バリュータイプ))』の「PART4　周辺機器の利用」の「ケーブルストッパ」をご覧ください。

❶USB接続のキーボードを接続する場合(ここではUSB 109キーボードを例に説明します)

①添付のマウスをキーボードに接続する

マウスは、本体のUSBコネクタには接続しないでください。

②キーボードを液晶ディスプレイ、または本体のUSBコネクタに接続する

■液晶ディスプレイに接続する場合

ここではディスプレイ(F17M02-R)がセットになった場合を例に説明します。

液晶ディスプレイの背面にある2つのUSBコネクタの、どちらを使用しても構いません。

■本体(背面)に接続する場合

■本体(前面)に接続する場合

USBケーブルフックにキーボードのケーブルを引っ掛けてから、USBコネクタに接続する

※USBケーブルフックを利用すると、USBケーブルの抜け防止に役立ちます。

チェック!!

アクリルパネルやUSBケーブルフックは、誤ってキーボードのケーブルを強く引くと過度の力がかかり、破損する場合があります。

❷PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではテンキー付きPS/2小型キーボード(縦置き収納型)を例に説明します)

①添付のマウスをキーボードに接続する

②キーボードから出ているマウス(緑)とキーボード(紫)のケーブルを、本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する

❸PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではPS/2 109キーボードを例に説明します)

添付のマウス(緑)、キーボード(紫)を、本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する

3.ディスプレイを接続する

お使いのディスプレイにより、❶または❷のいずれかの方法で接続してください。ディスプレイは、本体とセットになったモデルと別売のモデルがあり、接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

❶アナログ液晶ディスプレイ、またはCRTディスプレイを接続する場合

ここでは、ディスプレイ(F17M02-R)がセットになった場合を例に説明します。

スリムタワー型(高機能タイプ)で、GeForce4 MX440を選択した場合は、①〜⑤の順番に接続してください。

スリムタワー型(高機能タイプ)で、GeForce4 MX440を選択しない場合、またはスリムタワー型(スタンダードタイプ)の場合は、③〜⑤の順番に接続してください。

デュアルディスプレイ機能を使用する場合、ここでは一台目のディスプレイのみを接続してください。二台目のディスプレイは必ずWindowsのセットアップを終了させてから「7　マニュアルの使用方法」までの作業を行い、「8　使用する環境の設定と上手な使い方」の「4.アナログ液晶ディスプレイを二台接続して使用する」をご覧になり、接続してください。

①ディスプレイの背面につながっているアナログRGBケーブルのコネクタを、添付されているアナログケーブル(Twin View用)のコネクタに接続する

アナログケーブル(Twin View用)にある2つのコネクタの、1側から使用してください。

②アナログRGBケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする

③GeForce4 MX440を選択した場合は、アナログケーブル(Twin View用)のもう一方のコネクタを、アイコン( )とコネクタの形状を確認し、本体のGeForce4 MX440のコネクタに接続する
GeForce4 MX440を選択しない場合は、ディスプレイの背面につながっているアナログRGBケーブルのコネクタを、アイコン( )とコネクタの形状を確認し、本体のアナログRGBコネクタに接続する

④アナログケーブル(Twin View用)、またはアナログRGBケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする

⑤アナログ液晶ディスプレイの場合は、さらに、本体とアナログ液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。

❷デジタル液晶ディスプレイを接続する場合

ここでは、ディスプレイ(F17M02-R)がセットになった場合を例に説明します。

①ディスプレイの背面につながっているDVIケーブルのコネクタを、アイコン(⎍)とコネクタの形状を確認し、本体のDVI-Dコネクタに接続する

②DVIケーブルのコネクタに付いているネジでしっかりネジ止めする

③本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。

4. アース線、電源コードを接続する

次のページのイラストを見てアース線、電源コードを接続してください。

❶ディスプレイの電源コードのプラグをサービスコンセント付き電源コードに差し込む

次のページのイラストはアナログ液晶ディスプレイ(F17M02-R)がセットになった場合です。ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

❷本体の電源コードを接続する

①本体にサービスコンセント付き電源コードを接続する

②コンセントのアース端子にアース線を接続する

アース端子部分にはキャップが付いています。接続するときに取り外してください。

③サービスコンセント付き電源コードのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れる場合がありますが、故障ではありません。

以上で添付品の接続は完了です。

p.41「5　Windowsのセットアップ」へ進んでください。

スリムタワー型(バリュータイプ)の場合

1. スタビライザの取り付け

本機には、本体を縦置きで使用する場合に、安定して設置するためのスタビライザと言う脚が添付されています。梱包箱から出したままの状態では、スタビライザは本体に取り付けられていません。縦置きで使用する場合は、転倒防止のため、必ず❶か❷のいずれかの方法でスタビライザを取り付けて設置してください。
また、本体を横置きで使用することもできます。この場合、スタビライザをセットする必要はありません。横置きで使用する場合は、ゴム足がある方を下にして設置してください。また、本体の上に約20kgまでのディスプレイなどを置くことができます。なお、ディスプレイや書類などで、通風孔をふさがないでください。
横置きで使用する場合は、p.37「2.マウス、キーボードを接続する」へ進んでください。

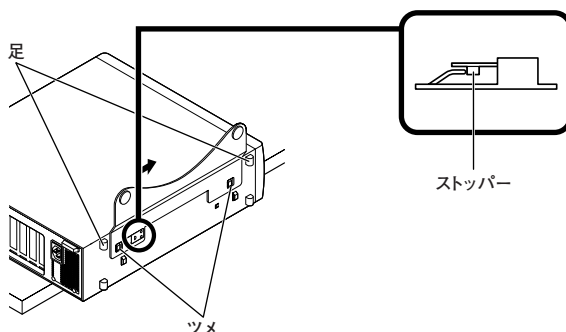
❶スタビライザを2つ取り付ける場合

①机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる

この場合、机やテーブルなどを傷付けたりしないように、厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。

②片方のスタビライザを本体のツメと足に合わせ、スタビライザを矢印方向にストッパがロックされるまでスライドさせる

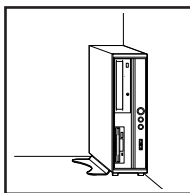
チェック!!

スタビライザを本体に取り付けるときは、指を挟んだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。

③もう一方のスタビライザも②と同じ方法で取り付ける

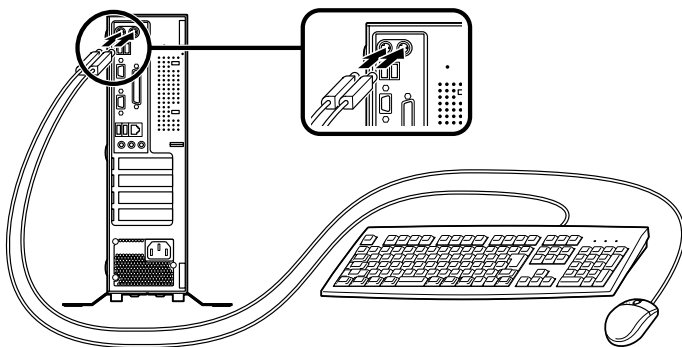
❷スタビライザを1つ取り付ける場合

次のように、本体の右側を壁などに付けて縦置きで使用する場合は、左側にスタビライザを1つ取り付けることで設置することができます。

本体の左側に通風孔があるため、壁などでふさがないように設置してください。

p.36「❶スタビライザを2つ取り付ける場合」と同じ方法で、左側に1つ取り付ける

1つのスタビライザのみをセットする場合は、転倒防止のため、必ず反対側の側面を壁などにつけて使用してください。

2. マウス、キーボードを接続する

添付のマウス(緑)、キーボード(紫)を、本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する

※ケーブルストッパを利用すると、キーボード、マウスの盗難やケーブルの抜け防止に役立ちます。
ケーブルストッパの使い方は、『活用ガイド　ハードウェア編(スリムタワー型(高拡張性タイプ)、スリムタワー型(高機能タイプ)、スリムタワー型(スタンダードタイプ)、スリムタワー型(バリュータイプ)』の「PART3　周辺機器の利用」の「ケーブルストッパ」をご覧ください。

3. ディスプレイを接続する

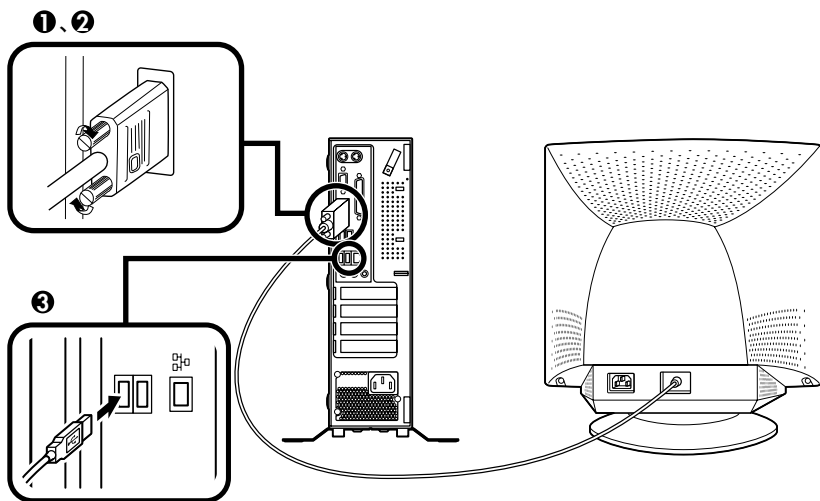
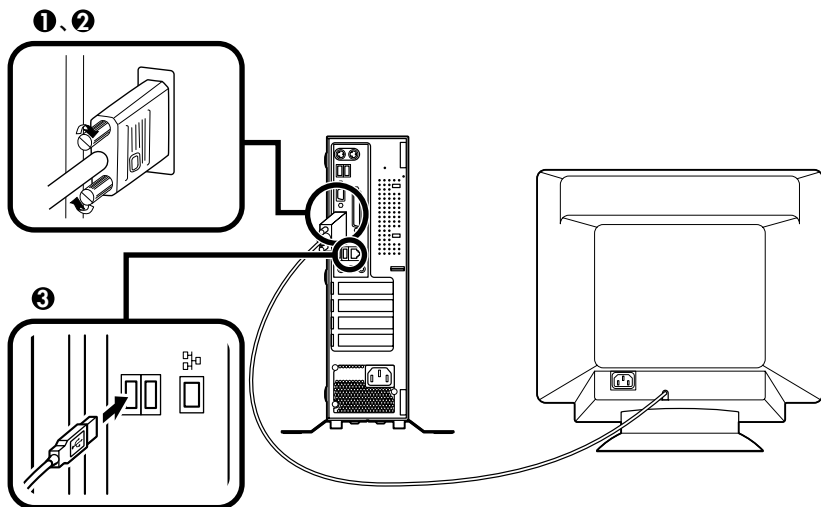
ディスプレイは、本体とセットになったモデルと別売のモデルがあり、接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。
ここでは、ディスプレイ(FE770)がセットになった場合を例に説明します。
❶～❸の順番に接続してください。

❶ディスプレイの背面につながっているアナログRGBケーブルのコネクタを、アイコン(▭)とコネクタの形状を確認し本体のアナログRGBコネクタに接続する

❷アナログRGBケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする

❸液晶ディスプレイの場合は、さらに、本体と液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。

■MY28V/R-G、MJ28V/R-Gの場合

■MY25X/R-G、MJ25X/R-Gの場合

4. アース線、電源コードを接続する

次のページのイラストを見てアース線、電源コードを接続してください。

❶ディスプレイの電源コードを接続する

次のページのイラストはディスプレイ(FE770)がセットになった場合です。ディスプレイの電源コードの接続については、ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

①ディスプレイにディスプレイ用電源コードを接続する

②電源コードのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

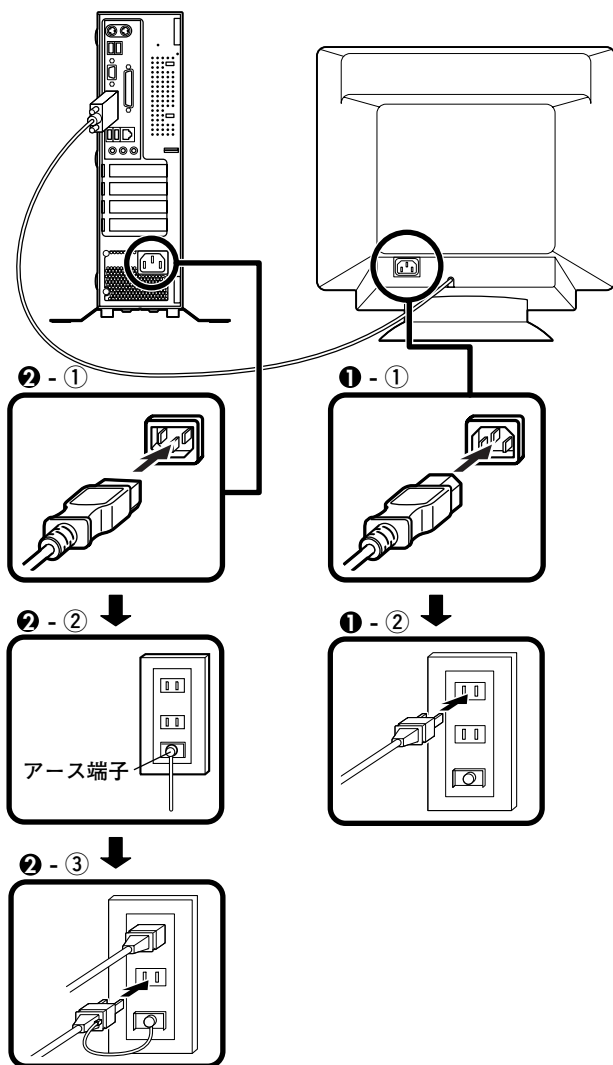
❷本体の電源コードを接続する

①本体に電源コードを接続する

②コンセントのアース端子にアース線を接続する

アース端子部分にはキャップが付いています。接続するときに取り外してください。

③電源コードのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れる場合がありますが、故障ではありません。

以上で添付品の接続は完了です。
次のページの「5　Windowsのセットアップ」へ進んでください。

5 Windowsのセットアップ

初めて本機の電源を入れるときは、Windowsセットアップの作業が必要です。

セットアップをするときの注意

- **周辺機器は接続しない**
  この作業が終わるまでは、「4　添付品の接続」で接続した機器以外の周辺機器(プリンタや増設メモリなど)の取り付けを絶対に行わないでください。これらの周辺機器を本機と一緒に購入した場合は、先に「5　Windowsのセットアップ」から「8　使用する環境の設定と上手な使い方」の作業を行った後、周辺機器に添付のマニュアルを読んで接続や取り付けを行ってください。
- **LANケーブル(別売)、および無線LAN用外付けアンテナは接続しない**
  LANケーブル、および無線LAN用外付けアンテナは、本機を安全にネットワークに接続させるため、Windowsのセットアップ、ファイアウォールの設定を終了させてから接続するようにしてください。
- **途中で電源を切らない**
  作業の途中では絶対に電源を切らないでください。作業の途中で、電源スイッチを操作したり電源コードを引き抜いたりすると、故障の原因になります。途中で画面が止まるように見えることがあっても、セットアッププログラムは動作していることがあります。故障ではありませんので、慌てずに手順通り操作してください。
- **セットアップ中は放置しない**
  Windowsのセットアップが終了し、いったん電源を切るまでセットアップ中でキー操作が必要な画面を含み、本機を長時間放置しないでください。

障害が発生した場合や誤って電源スイッチを押してしまった場合は、p.46「セットアップ中のトラブル対策」をご覧ください。

セットアップを始める前の準備

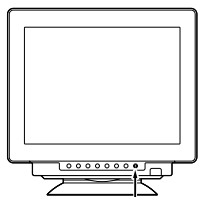
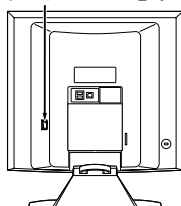
Windowsセットアップ中に本機を使う人の名前を入力する必要があります。登録する名前を決めておいてください。

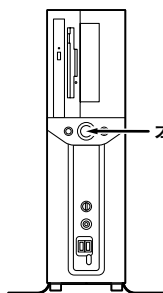
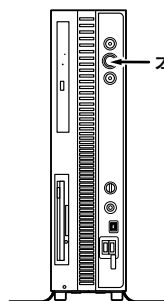
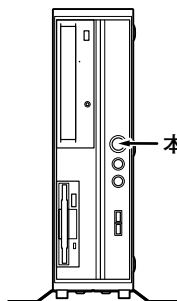
電源を入れる

必ず❶、❷の順番に従って、正しく電源を入れてください。

❶ディスプレイの電源を入れる

ディスプレイの電源スイッチの位置は、ディスプレイに添付のマニュアルを参照してください。

■ CRTディスプレイ（FE770）の場合

■ アナログ液晶ディスプレイ（F17M02-R）の場合

❷本体の電源を入れる

■スリムタワー型(高拡張性タイプ)の場合

■ スリムタワー型(高機能タイプ)、スリムタワー型(スタンダードタイプ)の場合

■ スリムタワー型(バリュータイプ)の場合

セットアップの作業手順

以降は、お買い上げいただいたオペレーティングシステムに従って、「1. Windows XP Professionalのセットアップ」、またはp.44「2. Windows XP Home Editionのセットアップ」に進んでください。

また、Ghostについては、「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」内の「Ghost.txt」をご覧ください。

1. Windows XP Professionalのセットアップ

Windows XP Professionalのセットアップを開始します。

- これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。
- 「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
- 手順④～⑦の設定方法についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❶「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

❷「使用許諾契約」画面を確認する

をクリックするか、キーボードの【PageDown】を押すと、「契約書」の続きを読むことができます。

❸内容を確認後、「同意します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

(同意しない場合セットアップは続行できません)

❹「コンピュータを保護してください」画面が表示されたら、「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」、または「後で設定します」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❺「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されたら、名前を入力し、「次へ」ボタンをクリック

❻「管理者パスワードを設定してください」画面が表示されたら、管理者パスワードを入力し、「次へ」ボタンをクリック

❼「このコンピュータをドメインに参加させますか？」画面が表示された場合は、「いいえ」、または「はい」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❽「インターネットを確認しています。」画面が表示された場合は、「省略」ボタンをクリック

❾「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示された場合は、「いいえ、今回はユーザー登録しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❿「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されたら、ユーザ名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

ユーザ名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。なお、ここで入力した「ユーザー1」の内容が、「システムのプロパティ」の「使用者」として登録されます。「使用者」はセットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。

⓫「設定が完了しました」画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。

Windows XP Professionalのセットアップが終了したら、p.45「電源を切る」の手順に従い、必ず一度電源を切ってください。

2. Windows XP Home Editionのセットアップ

Windows XP Home Editionのセットアップを開始します。

- これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。
- 「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
- 手順④、⑤の設定方法についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❶「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

❷「使用許諾契約」画面を確認する

をクリックするか、キーボードの【PageDown】を押すと、「契約書」の続きを読むことができます。

❸内容を確認後、「同意します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

(同意しない場合セットアップは続行できません)

❹「コンピュータを保護してください」画面が表示されたら、「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」、または「後で設定します」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❺「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されたら、名前を入力し、「次へ」ボタンをクリック

❻「インターネットを確認しています。」画面が表示された場合は、「省略」ボタンをクリック

❼「Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示された場合は、「いいえ、今回はユーザー登録しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❽「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されたら、ユーザ名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

ユーザ名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。なお、ここで入力した「ユーザー1」の内容が、「システムのプロパティ」の「使用者」として登録されます。「使用者」はセットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。

❾「設定が完了しました」画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。

Windows XP Home Editionのセットアップが終了したら、次の「電源を切る」の手順に従い、必ず一度電源を切ってください。

電源を切る

次の手順で正しく電源を切ってください。

❶「スタート」ボタンをクリックし、「終了オプション」をクリック

❷「電源を切る」ボタンをクリック

自動的に電源が切れます。

❸ディスプレイの電源を切る

以上で、Windowsのセットアップは完了です。
本機を安全にネットワークに接続するために、セキュリティ環境の更新を行います。
p.47「LANケーブル、および無線LAN外付けアンテナの接続」へ進んでください。

セットアップ中のトラブル対策

◎電源スイッチを押しても電源が入らない

- **電源コードの接続が不完全である事が考えられるので、一度電源コードをコンセントから抜き、本体と電源コードがしっかり接続されていることを確認してから、もう一度電源コードをコンセントに差し込む**
  電源コードを接続し直しても電源が入らない場合は、本体の故障が考えられますので、ご購入元にご相談ください。

◎セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

- **電源を入れて、表示される画面をチェックする**
  CHKDSKが実行され、ハードディスクに異常がないときは、セットアップを続行することができます（CHKDSKは実行されない場合もあります。）。
  セットアップが正常に終了した後は問題なくお使いいただけます。エラーメッセージが表示された場合は、システムを起動するためのファイルに何らかの損傷を受けた可能性があります。この場合、Windowsは起動しません。Windowsを再セットアップするか、ご購入元にご相談ください。
  再セットアップについては、『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

◎セットアップの途中でパソコンが反応しない、またはエラーメッセージが表示された

- **パソコンが反応しなかったり、エラーメッセージが表示された場合は、メッセージを書き留めた後、本機の電源スイッチを4秒以上押して、強制的に終了する**
  いったん電源を切った後で電源を入れ直す場合は、電源を切ってから5秒以上間隔をあけて電源を入れてください。また、電源コードを抜いたり、ブレーカーなどが落ちて電源が切れた場合は、30秒以上間隔をあけてから、電源を入れてください。その後、上記の「・電源を入れて、表示される画面をチェックする」をご覧ください。

本機を安全にネットワークに接続するために、セキュリティ環境の更新を行います。次のページの「LANケーブル、および無線LAN外付けアンテナの接続」へ進んでください。

LANケーブル、および無線LAN用外付けアンテナの接続

1. 本機を安全にネットワークに接続するために

コンピュータウイルスやセキュリティ上の脅威を避けるためには、お客様自身が本機のセキュリティを意識し、常に最新のセキュリティ環境に更新する必要があります。
LANケーブル(別売)、および無線LANなどを使用して本機を安全にネットワークに接続させるために、以下の対策を行うことを強く推奨します。

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってLANケーブル、および無線LANなどの接続を行ってください。

❶ファイアウォールの利用

コンピュータウイルスの中には、ネットワークに接続しただけで感染してしまう例も確認されていますので、ファイアウォールを利用することを推奨します。

Windows XP Service Pack 2では標準で「Windowsファイアウォール」機能が有効になっています。
「Windowsファイアウォール」について、詳しくはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

❷Windows Update

最新かつ重要なセキュリティの更新情報が提供されています。ネットワークに接続後、Windowsを最新の状態に保つために、Windows Updateで「優先度の高い更新プログラム」の更新を定期的に実施してください。

Windows Updateについて、詳しくはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

❸ウイルス対策アプリケーションの利用

本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーション(ウイルススキャン)が「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に添付されています。

コンピュータウイルスから本機を守るために、ウイルススキャンをインストールすることを推奨します。

ウイルススキャンはインストールした環境のまま使用し続けた場合、十分な効果は得られません。日々発見される新種ウイルスに対応するためウイルス定義(DAT)ファイルを最新の状態にする必要があります。

ウイルス定義(DAT)ファイルの無償提供期間は登録後90日間です。引き続きお使いになる場合は、継続利用のお申し込み(有償)が必要です。

ウイルススキャンについて、詳しくは『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「ウイルススキャン」をご覧ください。

メモ

Windows XPのセキュリティ機能(Windowsセキュリティセンター)では、Windowsファイアウォール、Windows Updateの自動更新、ウイルス対策アプリケーションが有効になっているかどうかをリアルタイムで監査し、無効になっている場合は画面に警告を表示します。

2. LANケーブル(別売)を接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。

稼動中のLANに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってLANケーブルの接続を行ってください。

スリムタワー型(高拡張性タイプ)の方は、p.48を、スリムタワー型(高機能タイプ)、スリムタワー型(スタンダードタイプ)の方はp.50を、スリムタワー型(バリュータイプ)の方はp.51をご覧ください。

■スリムタワー型(高拡張性タイプの場合)

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、LANケーブル(別売)を使い、次の手順で接続します。無線LAN用外付けアンテナを接続する場合は、p.54「3. 無線LAN 用外付けアンテナを接続する」へ進んでください。
LAN を使用する場合は、❶、❸の手順で接続してください。
ギガビットイーサーネットLANを使用する場合は、❷、❸の手順で接続してください。

❶LANケーブルのコネクタを、PCIスロットに挿入されているLANボードのアイコン( )に従って接続する

❷LANケーブルのコネクタを本体のアイコン( )に従って接続する

❸ハブなどのネットワーク機器に、LANケーブルのもう一方を接続する

※LANの設定については、『活用ガイド　ハードウェア編 スリムタワー型(高拡張性タイプ)、スリムタワー型(高機能タイプ)、スリムタワー型(スタンダードタイプ)、スリムタワー型(バリュータイプ)』の「PART 1　本体の構成各部」の「LAN(ローカルエリアネットワーク)」をご覧ください。

以上でLANケーブルの接続は完了です。

スマートセレクション、およびフリーセレクションで、Office Personal 2003、およびOffice Professional Enterprise　2003を選択した場合は、p.55「Microsoft® Office 2003 Service Pack 1をインストールする(Office 2003モデルのみ)」へ進んでください。

その他の場合は、p.56「6　お客様登録」へ進んでください。

■スリムタワー型(高機能タイプ)、スリムタワー型(スタンダードタイプ)の場合

必要に応じて次の接続を行ってください。
LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、LANケーブル(別売)を使い、次の手順で接続します。

> 稼働中のLANに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってLANケーブルの接続を行ってください。

❶LANケーブルのコネクタを本体のアイコン(品)に従って接続する

❷ハブなどのネットワーク機器に、LANケーブルのもう一方を接続する

※LANの設定については、『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型(高拡張性タイプ)、スリムタワー型(高機能タイプ)、スリムタワー型(スタンダードタイプ)、スリムタワー型(バリュータイプ)』の「PART 1　本体の構成各部」の「LAN(ローカルエリアネットワーク)」)をご覧ください。

以上でLANケーブルの接続は完了です。
スマートセレクション、およびフリーセレクションで、Office Personal 2003、およびOffice Professional Enterprise　2003を選択した場合は、p.55「Microsoft® Office 2003 Service Pack 1をインストールする(Office 2003モデルのみ)」へ進んでください。
その他の場合は、p.56「6　お客様登録」へ進んでください。

■スリムタワー型(バリュータイプ)の場合

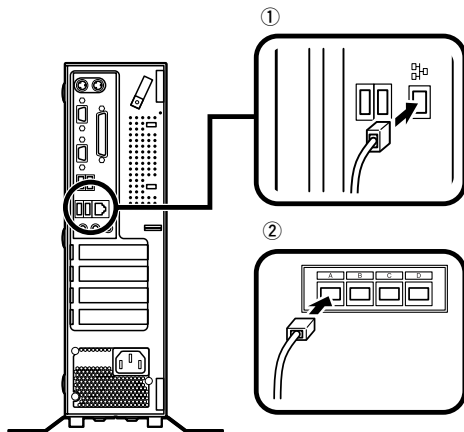
必要に応じて次の接続を行ってください。
LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、LANケーブル(別売)を使い、➊の手順で接続します。
FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、電話回線ケーブルを使い、➋の手順で接続します。

➊LANケーブル(別売)を接続する場合

> 稼働中のLANに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってLANケーブルの接続を行ってください。

・PC-MY28X/R-G、PC-MJ28X/R-Gの場合

①LANケーブルのコネクタを本体のアイコン( )に従って接続する

②ハブなどのネットワーク機器に、LANケーブルのもう一方のコネクタを接続する

・PC-MY25V/R-G、PC-MJ25V/R-Gの場合

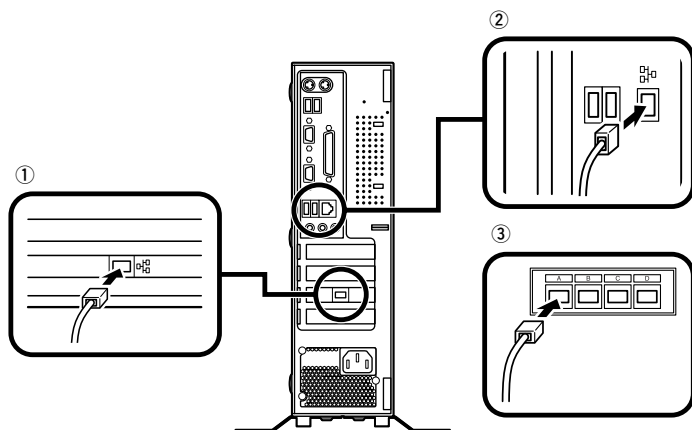
ギガビットイーサネットLANを使用する場合は、①、③の手順で接続してください。

標準LANを使用する場合は、②、③の手順でしてください。

①LANケーブルのコネクタを、PCIスロットに挿入されているLANボードのアイコン( )に従って接続する

②LANケーブルのコネクタを本体のアイコン( )に従って接続する

③ハブなどのネットワーク機器に、LANケーブルのもう一方のコネクタを接続する

※LANの設定については、『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型(高拡張性タイプ)、スリムタワー型(高機能タイプ)、スリムタワー型(スタンダードタイプ)、スリムタワー型(バリュータイプ)』の「PART1　本体の構成各部」の「LAN(ローカルエリアネットワーク)」をご覧ください。

以上でLANケーブルの接続は完了です。

スマートセレクション、およびフリーセレクションで、Office Personal 2003、およびOffice Professional Enterprise　2003を選択した場合は、p.55「Microsoft® Office 2003 Service Pack 1をインストールする(Office 2003モデルのみ)」へ進んでください。

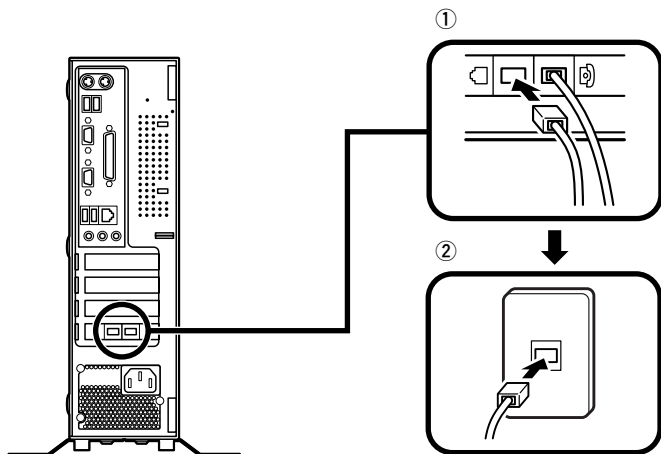
その他の場合は、p.56「6　お客様登録」へ進んでください。

❷電話回線ケーブルを接続する場合

- 端末機器の設計についての認証(技術基準適合認定)は電話回線で受けています。
- FAXモデムボードに接続できる電話回線は2線式のみです。電話機の種類によっては動作しない機種がありますので注意してください。
- FAXモデムボードの詳細については、セットアップ完了後に『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型(高拡張性タイプ)、スリムタワー型(高機能タイプ)、スリムタワー型(スタンダードタイプ)、スリムタワー型(バリュータイプ)』の「PART1　本体の構成各部」の「モデム」をご覧ください。

①電話機につながっているケーブルのコネクタを本体のアイコン( )に従って接続し、電話回線ケーブルの一方のコネクタを本体のアイコン( )に従って接続する

②電話回線コンセントに、電話回線ケーブルのもう一方のコネクタを接続する

本機を電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使うことができます。

以上で電話回線ケーブルの接続は完了です。
スマートセレクション、およびフリーセレクションで、Office Personal 2003、およびOffice Professional Enterprise　2003を選択した場合は、p.55「Microsoft® Office 2003 Service Pack 1をインストールする(Office 2003モデルのみ)」へ進んでください。
その他の場合は、p.56「6　お客様登録」へ進んでください。

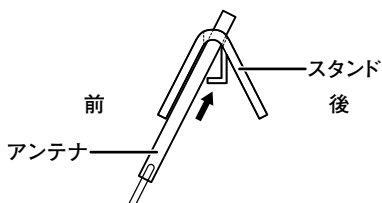
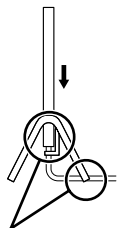
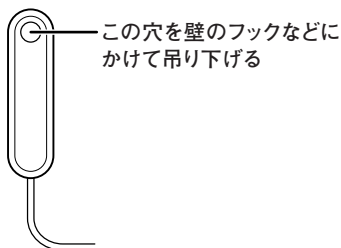
3. 無線LAN用外付けアンテナを接続する

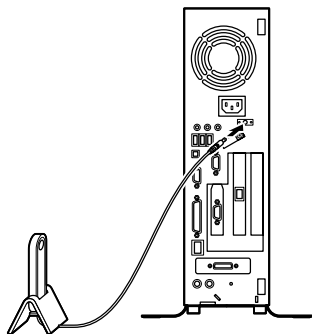
無線LANを選択した場合、無線LANアンテナが本機に添付されています。次の手順に従い、接続を行ってください。

装置内部に実装された無線LANモジュールとコネクタボード、およびコネクタボード間のケーブルには触れないでください。

❶アンテナを組み立てる

机やテーブル、または本機の上などにアンテナを置く場合は、次の手順でアンテナをスタンドに立ててください。

①スタンドの下から、アンテナをスタンドの穴に通す

②アンテナをスタンドの台にのせる

また、アンテナをスタンドには立てず、次のように壁のフックなどに吊り下げて使用することもできます。感度の良い方で使用してください。

❷アンテナを本体に接続する

背面の無線LAN用コネクタに、外付けアンテナのコネクタを差し込んでください。

以上で無線LAN用外付けアンテナの接続は完了です。
スマートセレクション、およびフリーセレクションで、Office Personal 2003、およびOffice Professional Enterprise　2003を選択した場合、次の「Microsoft® Office 2003 Service Pack 1をインストールする(Office 2003モデルのみ)」へ進んでください。
次のページの「6　お客様登録」へ進んでください。

Microsoft® Office 2003 Service Pack 1をインストールする(Office 2003モデルのみ)

Office Personal 2003モデル、またはOffice Professional Enterprise 2003モデルをお使いの方は、電子マニュアル(『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「Office Personal 2003」の「Office 2003 SP1、Home Style+ SP1の追加」、または「Office Professional Enterprise 2003」の「Office 2003 SP1の追加」)をご覧になり、それぞれ必要なService Packをインストールしてください。

メモ

- 電子マニュアルの参照方法については、p.56「7　マニュアルの使用方法」の「電子マニュアルの使用方法」をご覧ください。
- インストールの途中で「Office Personal 2003」、「Home Style+」、または「Office Professional Enterprise 2003」のCD-ROMが必要になる場合があるので、あらかじめ用意しておいてください。

以上でMicrosoft® Office 2003 Service Pack 1のインストールは終了です。
次のページの「6　お客様登録」へ進んでください。

6 お客様登録

本製品のお客様登録はInternet Explorerの「お気に入り」メニューにある「NEC 8番街 (お客様登録)」からインターネットによる登録を行ってください(登録料、会費は無料です)。

メモ

・ Mate Jをお使いの場合は、デスクトップにある「NEC 8番街 (お客様登録)」からでも、登録することができます。
・ Microsoft社に対するユーザー登録は、「ユーザー登録ウィザード」で行うことができます。「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」を選択し、「名前」に「regwiz /r」と入力してください。ユーザー登録についての詳細は「ヘルプとサポート」、またはWindowsのヘルプをご覧ください。

以上でお客様登録は完了です。
次の「7　マニュアルの使用方法」へ進んでください。

7 マニュアルの使用方法

本機に添付、またはCD-ROM(「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」)に格納されているマニュアルを紹介します。目的にあわせてお読みください。
また、マニュアル類はなくさないようにご注意ください。マニュアル類をなくした場合は『活用ガイド　ソフトウェア編』の「トラブル解決Q&A」の「その他」をご覧ください。

マニュアルの使用方法

※印のマニュアルは、「Mate/Mate J 電子マニュアル」として「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に入っています。「Mate/Mate J 電子マニュアル」の使用方法については、P.59「電子マニュアルの使用方法」をご覧ください。

●『安全にお使いいただくために』
本機を安全にお使いいただくための情報を記載しています。使用する前に必ずお読みください。

●『活用ガイド　再セットアップ編』
本機のシステムを再セットアップするときにお読みください。

●『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型(高拡張性タイプ)、スリムタワー型(高機能タイプ)、スリムタワー型(スタンダードタイプ)、スリムタワー型(バリュータイプ)(Windows XP Professionalインストールモデル、Windows XP Home Editionインストールモデル)』　※

本体の各部の名称と機能、内蔵機器の増設方法、システム設定(BIOS設定)、ATコマンドについて確認したいときにお読みください。

●『活用ガイド　ソフトウェア編』　※

アプリケーションの概要と削除/追加、ハードディスクのメンテナンスをするとき、他のOSをセットアップする(Mate Jではプリインストールされているos以外では使用できません)とき、またはトラブルが起きたときにお読みください。

●ディスプレイのユーザーズマニュアル

・液晶ディスプレイ、またはCRTディスプレイがセットになったモデルの場合は、ディスプレイに添付されています(p.2「1　型番を控える」をご覧ください)。ご利用の際に、必ずお読みください。

・液晶ディスプレイのUSBハブが正常に接続されていることの確認については、次の手順で「デバイスマネージャ」から「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」を開き、以下のいずれかになっていることを確認してください。

❶「スタート」ボタン→「マイコンピュータ」をクリック

❷「システムのタスク」の「システム情報を表示する」をクリック

❸「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリック

❹「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」をダブルクリック

■USB接続のキーボードをお使いの場合

「NEC USB Hub」が2つ表示されている、または「NEC USB Hub」と「汎用USBハブ」が表示されている

■PS/2接続のキーボードをお使いの場合

「NEC USB Hub」が表示されている

●選択アプリケーションのマニュアル

Office Personal 2003、またはOffice Professional Enterprise 2003を選択した場合、マニュアルが添付されています(p.2「1　型番を控える」をご覧ください)。ご利用の際にお読みください。

●**保証規定＆修理に関するご案内**

パソコンに関する相談窓口、保証期間と保証規定の詳細内容およびQ＆A、有償保守サービス、お客様登録方法、NECビジネスPC/Express5800情報発信サイト「NEC 8番街」について知りたいときにお読みください。

Microsoft関連製品の情報について

次のWebサイト（Microsoft Press）では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用にMicrosoft関連商品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。

http://www.microsoft.com/japan/info/press/

電子マニュアルの使用方法

電子マニュアルを使用する場合は、次の手順で起動してご覧ください。

❶CD-ROMドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、またはDVDスーパーマルチドライブに、本機に添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」をセットする

❷「エクスプローラ」、または「マイコンピュータ」を開く

❸CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリック

❹「_manual」フォルダをダブルクリックし、「index」ファイルをダブルクリック

「Mate/Mate J 電子マニュアル」が表示されます。

PDF形式のマニュアル(ファイル)をご覧いただくときの補足事項

あらかじめ、本機にAdobe Readerをインストールしておく必要があります。詳しくは『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「Adobe Reader」をご覧ください。

メモ

- 必要に応じて「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用ください。
  「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用の際、フォルダ名・ファイル名などは変更しないでください。コピー先のフォルダ名はすべて英数字の半角文字である必要があります。それ以外の文字(「デスクトップ」などの日本語)のフォルダ名にコピーすると起動することができなくなります。
- Windowsが起動しなくなったなどのトラブルが発生した場合は、電子マニュアルをご覧になることができません。そのため、あらかじめ「トラブル解決Q&A」を印刷しておくと便利です。
- NECビジネスPC/Express5800情報発信サイト「NEC 8番街」では、NEC製のマニュアルを電子マニュアル化し、ダウンロードできるサービスを行っております。
  http://nec8.com/
  「サポート情報」→「商品情報・消耗品」→「本体添付マニュアル」の「ビジネスPC(Mate & VersaPro)の電子マニュアル」から電子マニュアルビューアをご覧ください。
  また、NEC PCマニュアルセンターでは、マニュアルの販売を行っています。
  http://pcm.mepros.com/

以上でマニュアルの使用方法は完了です。
次のページの「8　使用する環境の設定と上手な使い方」へ進んでください。

8 使用する環境の設定と上手な使い方

本機を使用する環境や運用・管理する上で便利な機能を設定します。機能の詳細や設定方法については、『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型(高拡張性タイプ)、スリムタワー型(高機能タイプ)、スリムタワー型(スタンダードタイプ)、スリムタワー型(バリュータイプ)』、『活用ガイド　ソフトウェア編』、および『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

1. 最新の情報を読む

補足説明

補足説明には、本製品のご利用にあたって注意していただきたいことや、マニュアルには記載されていない最新の情報について説明していますので、削除しないでください。以下の方法でお読みください。

・「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「補足説明」をクリック

2. 「再セットアップ用CD-ROM」の作成について

「再セットアップ用CD-ROM」の作成機能については、出荷時の製品構成でのみサポートしております。
「再セットアップ用CD-ROM」を作成する場合は、必ずService PackやRecordNowのアップデート前に作成してください。
「再セットアップ用CD-ROM」作成についての詳細は『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

3. Windows XP のService Packについて

本機にはService Pack 2がインストールされています。
Service Pack 2を削除することにより、使用できなくなる機能、機器がありますので、Service Pack 2は削除しないでください(使用できなくなる機能、機器についての詳細は『活用ガイドソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「「Service Pack」について」をご覧ください)。

また、WindowsXP SP1aの適用に関する情報を下記サイトにて提供しております。
WindowsXP SP1aを追加する場合は、下記サイトをご参照の上、ご適用ください。

http://nec8.com/care/windowsxpsp2/index.html

4. アナログ液晶ディスプレイを二台接続して使用する

デュアルディスプレイ機能について

スリムタワー型(高拡張性タイプ)でRADEON X300を選択した場合、またはスリムタワー型(高機能タイプ)でGeForce4 MX440を選択した場合、アナログ液晶ディスプレイを二台接続して使用することができます。電源が入っている場合は、電源を切り、「4　添付品の接続」の「3.ディスプレイを接続する」の「❶アナログ液晶ディスプレイ、またはCRTディスプレイを接続する場合」をご覧になり、一台目のディスプレイと同様の手順で、二台目のディスプレイを接続してください。デュアルディスプレイ機能の設定については、『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型(高拡張性タイプ)、スリムタワー型(高機能タイプ)、スリムタワー型(スタンダードタイプ)、スリムタワー型(バリュータイプ)』の「PART1　本体の構成各部」の「ディスプレイ」の「デュアルディスプレイ機能を使う」をご覧ください。

5. 液晶ディスプレイの調整

液晶ディスプレイの調整について

文字がにじむときや縦縞状のノイズなどがあるときは、液晶ディスプレイの調整が必要です。ディスプレイに添付のマニュアルをご覧になり、ディスプレイを調整してください。

■液晶ディスプレイ(F17M02-R)をアナログ液晶ディスプレイとして使用した場合、またはアナログ液晶ディスプレイ(F15K02)の場合

「画面調整用BMPファイル」が「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に格納されています。詳しくは、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

■液晶ディスプレイ(F17M02-R)をデジタル液晶ディスプレイとして使用した場合

画面の位置、サイズなどの調整は必要ありません。

■アナログ液晶ディスプレイ(LCD52VM-R、LCD72VM-R、LCD92VM-R)の場合

ディスプレイ本体のオートアジャスト機能で調整してください。詳しくは、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

6. Securityの設定

スーパバイザ/ユーザパスワード、ハードディスクパスワード、筐体ロックなど

本機には、本機の不正使用を防止する機能(スーパバイザ/ユーザパスワード)、ハードディスクドライブが盗難にあってもデータの漏洩を防ぐ機能(ハードディスクパスワード)、内蔵部品(メモリやハードディスクドライブ)の盗難を防止するため、錠をかける機能(筐体ロック)があります。この他にも便利な機能があります。詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型(高拡張性タイプ)、スリムタワー型(高機能タイプ)、スリムタワー型(スタンダードタイプ)、スリムタワー型(バリュータイプ)』の「PART1　本体の構成各部」の「セキュリティ機能/マネジメント機能」をご覧ください。

7. データのバックアップの設定

データのバックアップ方法については、『活用ガイド ソフトウェア編』の「メンテナンスと管理」の「ハードディスクのメンテナンス」をご覧ください。

❶StandbyDisk

2台のハードディスクを使用し、一方のハードディスクドライブの内容をもう一方のハードディスクドライブに定期的(日/週/月単位等)に、バックアップできます。このため、運用中のハードディスクドライブの障害が起きたときに、もう一方のハードディスクから起動し、バックアップした時点の環境に戻すことができます。StandbyDiskは「増設ハードディスク(StandbyDiskあり)」を選択した場合のみ添付されています。
詳しくは『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「StandbyDisk」をご覧ください。

❷StandbyDisk Solo RB

ハードディスク内にある第1パーティション(Cドライブ)の使用領域とほぼ同じ容量をバックアップ先(以後スタンバイ・エリア)として同パーティション内に確保し、使用領域のバックアップを行います。
稼動中のシステムに障害が起きた際、スタンバイ・エリアからシステムを起動することで、ハードウェア障害であるか、あるいはソフトウェア障害であるかを絞り込むことが可能です。

次の方法で「StandbyDisk Solo RBインストールガイド」を起動し、StandbyDisk Solo RBをインストールしてください。なお、StandbyDisk Solo RBは、Mateのみ使用できます。

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「メンテナンスツール」→「StandbyDisk Solo RBインストールガイド」をクリック

また、次のWebサイトからStandbyDisk Solo RBの上位互換ソフトであるStandby Dick Soloにアップグレードすることができます(有償)。

http://www.netjapan.co.jp/solo/rb1a4/

❸FastCheckモニタリングユーティリティ

FastCheckモニタリングユーティリティは、RAIDシステムを管理するユーティリティです。RAIDシステムの全ての操作ステータスを監視することができます。データの変更や保存の際に、搭載した2台のハードディスクドライブにリアルタイムでデータの書き換えを実行し、大切なデータを二重化して保存します。万一1台目のハードディスクドライブでディスククラッシュなどのハードウェア障害が発生しても、もう一方のハードディスクドライブで継続動作が可能です。

FastCheckモニタリングユーティリティは、p.9 2-❾フリーセレクションの「増設ハードディスク/ミラーリング用IDE-RAIDボード」にて「RAID1」を選択した場合のみインストールされています。詳しくは『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型(高拡張性タイプ)、スリムタワー型(高機能タイプ)、スリムタワー型(スタンダードタイプ)、スリムタワー型(バリュータイプ)』の「PART1　本体の構成各部」の「ハードディスク(RAIDモデルの場合)」、および「Mate/Mate J 電子マニュアル」の「「FastCheckモニタリングユーティリティ」について」をご覧ください。

8. LANDesk Management Agentのセットアップについて

LANDesk Management AgentはLANDesk Software, Ltd.から販売されているLANDesk® Management Suite(別売)を使用してLANDesk® Management Suiteクライアントエージェントのリモートインストールをサポートするアプリケーションです。

LANDesk Management Suiteクライアントエージェントをインストールすることにより、LANDesk Management Suiteによる管理を可能にし、情報機器のソフトウェア、およびハードウェアの資産管理、セキュリティパッチの適用状況、OSやアプリケーションの更新などができます。

LANDesk Management Agentのセットアップ方法については、本体添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」内の「LDMA」ディレクトリの「SETUP.TXT」をご覧ください。

なお、LANDesk Management Agentは、Mateのスリムタワー型(高拡張性タイプ)、スリムタワー型(高機能タイプ)、スリムタワー型(スタンダードタイプ)のWindows XP Professionalモデルのみ使用できます。

9. セキュリティチップ ユーティリティ

セキュリティチップ ユーティリティでは、電子メールの保護機能や、ファイルとフォルダの暗号化(EFS)機能、Personal Secure Drive(PSD)機能を利用できます。これらの機種では、本体にハードウェア的にTPM(Trusted Platform Module)と呼ばれるセキュリティチップを実装し、セキュリティチップ内で暗号化や暗号化の解除、鍵の生成をするため、強固なセキュリティ機能を持っています。
また、セキュリティチップ上に暗号鍵を持つため、ハードディスクを取り外して持ち出されてもデータを読みとられることはありません。
詳しくは、「セキュリティチップ ユーティリティ CD-ROM」にあるマニュアルをご覧ください。「_manualTPM」フォルダの「index.htm」をダブルクリックして起動します。
なお、セキュリティチップユーティリティは、スリムタワー型(高拡張性タイプ)、スリムタワー型(高機能タイプ)、スリムタワー型(スタンダードタイプ)のWindows XP Professionalモデルのみ使用できます。

10.上手な使い方

❶トラブルを防止するために

本機のトラブルを予防し、効率よくマネジメントするためには、電源の入れ方/切り方や、エラーチェックなどいくつかのポイントがあります。また、トラブルが起きてしまった場合にそなえ、「システム修復ディスク」、または「RAIDモデル用ドライバディスク」(RAIDモデルの場合のみ)をあらかじめ作成しておくことをおすすめします。「システム修復ディスク」の作成方法は、『活用ガイド　再セットアップ編』を、「RAIDモデル用ドライバディスク」の作成方法、またはその他のトラブルの予防については、『活用ガイド　ソフトウェア編』「トラブル解決Q&A」の「トラブルを予防するには…」をご覧ください。

❷本機のお手入れ

本機を安全に、快適に使用するためには、電源コードやマウスなど定期的にお手入れが必要です。詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型(高拡張性タイプ)、スリムタワー型(高機能タイプ)、スリムタワー型(スタンダードタイプ)、スリムタワー型(バリュータイプ)』の「PART9　付録」の「お手入れについて」をご覧ください。

使用開始日表示ユーティリティ

本製品の保証期間は、製品ご購入日、もしくは初回電源投入日のどちらか遅い方の日から開始します。

初回電源投入日、型番、製造番号、構成コードは次の方法で確認できます。

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「メンテナンスツール」→「使用開始日表示ユーティリティ」をクリック

本製品の保証についての詳細は『保証規定＆修理に関するご案内』をご覧ください。

9 付録　機能一覧

仕様一覧

1.スリムタワー型(高拡張性タイプ)

型名*1	MY36Y/G-G MJ36Y/G-G	MY34Y/G-G MJ34Y/G-G	MY30Y/G-G MJ30Y/G-G
CPU	インテル® Pentium® 4 プロセッサ 660*44	インテル® Pentium® 4 プロセッサ550J*44	インテル® Pentium® 4 プロセッサ 530J*44
CPU　クロック周波数	3.60 GHz*2	3.40 GHz*2	3 GHz*2
キャッシュメモリ(CPU内蔵)　1次	12K μ命令実行トレース*3 / 16KBデータ		
キャッシュメモリ(CPU内蔵)　2次	2,048KB	1,024KB	
BIOS ROM (Flash ROM)	1,024KB、プラグ&プレイ対応		
システムバス	800MHz (メモリバス:533MHz)		
チップセット	インテル® 915G Express チップセット		
セキュリティチップ*47	TPM v1.1b準拠		
グラフィックアクセラレータ	インテル® 915G Express (チップセットに内蔵)		
グラフィックアクセラレータ　ビデオRAM	メインメモリより8〜128MBを自動的に使用		
最大メモリ (メインメモリ)	2GB [DIMMスロット×2]		
表示機能　解像度・表示色　640×480ドット(VGA)	最大1,677万色*42		
表示機能　解像度・表示色　800×600ドット(SVGA)	最大1,677万色*42		
表示機能　解像度・表示色　1,024×768ドット(XGA)	最大1,677万色*42		
表示機能　解像度・表示色　1,280×1,024ドット(SXGA)	最大1,677万色*5		
表示機能　解像度・表示色　1,600×1,200ドット(UXGA)	最大1,677万色*5		
サウンド機能　音源／サウンド機能	PCM録音再生機能 (ステレオ/モノラル、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート8-48kHz、全二重化対応)、MIDI音源機能 (ソフトウェアMIDI [GM、GS演奏モード対応、DLS2対応*33])、マイクノイズ除去機能*34、3Dポジショナルサウンド		
サウンド機能　スピーカ／スピーカ定格出力	アラームサウンド用モノラルスピーカ内蔵/0.9W*8		
サウンド機能　サウンドチップ	ADI社製 AD1981B搭載		
通信機能　LAN (ギガビットイーサネット)	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T*46、Remote Power On機能標準装備		
インターフェイス　USB*11	5 (本体前面×2、本体背面×3) [USB接続キーボード選択時、1ポートをキーボードで占有済] USB2.0対応*12		
インターフェイス　パラレル	セントロニクス準拠 D-sub25ピン		
インターフェイス　シリアル	RS-232C D-sub9ピン×2、最高115.2kbps対応		
インターフェイス　ディスプレイ　アナログRGB	アナログRGB セパレート信号出力(75Ωアナログインターフェイス)、ミニD-sub15ピン*40		
インターフェイス　ディスプレイ　DVI	−*56		
インターフェイス　PS/2	ミニDIN6ピン×2 [PS/2接続キーボード選択時、キーボード及びマウスで占有済]		
インターフェイス　通信関連	RJ45 (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T) LANコネクタ		
インターフェイス　サウンド関連　マイク入力	ステレオミニジャック×1 (マイク入力インピーダンス20kΩ、入力レベル5mVrms、バイアス電圧3.7V)		
インターフェイス　サウンド関連　ライン入力	ステレオミニジャック×1 (入力インピーダンス20kΩ、入力レベル1Vrms)		
インターフェイス　サウンド関連　ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック×1(対応ヘッドフォンインピーダンス 16Ω-100Ω「推奨32Ω」、出力電力 5mW/32Ω)		
インターフェイス　サウンド関連　ライン出力	ステレオミニジャック×1 (出力レベル 1Vrms、出力インピーダンス10kΩ)		
記憶装置　FDD	標準内蔵、3.5型、3モード (720KB/1.2MB/1.44MB) 対応*30		
ベイ　増設用ATAコネクタ	Parallel ATA×1、Serial ATA×1(増設HDD選択時はSerial ATA×1占有済)*45		
ベイ　3.5型ベイ [空き]	1スロット (増設HDD選択時占有済) [1]		
ベイ　内蔵3.5型ベイ [空き]	1スロット (標準HDDで占有済) [0]		
拡張スロット　PCI Express x16スロット [空き]*32	1スロット (Low Profile) (ATI社製 RADEON® X300 SEまたはデジタルディスプレイ用コネクタボード選択時、グラフィックボードで占有済) [1]		
拡張スロット　PCIスロット[空き]*17*18	2スロット(ハーフ×2)(ミラーリング(RAID 1)選択時は1スロット占有済)[2]*20*21		
電源	AC100V±10%、50/60Hz		
消費電力*22 (最大構成時)	約97W (最大約224W)	約97W (最大約222W)	約97W (最大約215W)
皮相電力*22 (最大構成時)	約99VA (最大約227VA)	約99VA (最大約225VA)	約99VA (最大約218VA)

型名＊1	MY36Y/G-G MJ36Y/G-G	MY34Y/G-G MJ34Y/G-G	MY30Y/G-G MJ30Y/G-G
エネルギー消費効率 （省エネ基準達成率）＊22＊23	P区分 0.00019（AAA）	P区分 0.00020（AAA）	P区分 0.00022（AAA）
電波障害対策	VCCI ClassB		
外形寸法（本体）	105（W）×350（D）×371（H）mm（スタビライザ含まず）、 235（W）×350（D）×371（H）mm（スタビライザ含む）＊25		
質量（本体）＊22	約9.8kg		
温湿度条件	10～35℃、20～80%（ただし結露しないこと）		
インストール可能OS ＊26＊27＊36	Windows® XP Professional（SP2）＊29/Home Edition（SP2）、 Windows® 2000 Professional（SP4）/Server（SP4）		
主な添付品	電子マニュアル（一部印刷マニュアル）、サービスコンセント付き電源コード、保証書、スタビライザ、3.5型ベイデバイスカバー、アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM		

＊ 1：セレクションメニューを選択した構成での型名・型番については、本書の『型番を控える』をご覧ください。
＊ 2：Windows® XP Professionalを選択の場合、ハイパー・スレッディング・テクノロジ対応となります。ハイパー・スレッディング・テクノロジは必ずService Pack 1以上を適用した状態でご使用ください（出荷時はService Pack 2を適用済み）。
＊ 3：最大12,000のデコード済みマイクロ命令をキャッシュすることにより、命令デコードに要する時間を不要にします。
＊ 5：グラフィックアクセラレータの持つ解像度および色数の能力であり、接続するディスプレイによっては、表示できないことがあります。
＊ 8：内蔵スピーカはシステムのアラームを通知することを考慮して実装しております。オーディオ再生等の際は、別途スピーカまたはヘッドフォンをご使用願います。
＊11：別売のインストール可能OS使用時はOS用ドライバにUSB2.0ドライバは含まれません。
＊12：USB接続キーボードのUSBハブを経由すると、USB転送速度が最大12Mbpsに制限されます。
＊17：選択する構成によっては、空きスロットを使用する場合があります。
＊18：RAIDボードおよびLANボードの取り外しはできません。なお、搭載可能なPCIボードサイズは、ハーフ：106（W）×176（D）mm以内となります。
＊20：LAN（100BASE-TX/10BASE-T）を選択した場合は、1スロット占有済。
＊21：ミラーリング（RAID1）を選択した場合、拡張ROMを搭載した拡張PCIボード（SCSIなど）は使用できません。
＊22：OSはWindows® XP Professional、メモリは256MB（エネルギー消費効率はメモリ2GB）、HDDは40GB（質量はHDD 160GB）、LAN、CD-ROM、FDD、USB109キーボード、USBマウス（ボール）、PCI Expressグラフィックアクセラレータ搭載時の構成にて測定。（増設HDDは無し。また、ハイパー・スレッディング・テクノロジはon。）
＊23：エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。省エネ基準達成率の表示語Aは達成率100%以上200%未満、AAは達成率200%以上500%未満、AAAは達成率500%以上を示します。
＊25：縦置き時の足以外の突起物含まず。
＊26：インストール可能OS用ドライバは本体に添付しておりません。また、Mate JではプリインストールされているOS以外は使用できません。「http://nec8.com/」の上段ボタン中「サポート情報」の「ダウンロード・OS情報・注意事項」→「ダウンロード」の「ビジネスPC（Mate &VersaPro）/ プリンタ（MultiWriter & MultiImpact）/ PC周辺機器」の「インストール可能OS用ドライバ（サポートOS用ドライバ）」の「Mate」に順次掲載いたします。なお、インストール可能OSをご利用の際、インストール / 添付アプリケーションがご利用いただけない等、いくつか制限事項があります。必ずご購入前に、上記HPの「インストール可能OSをご利用になる前に必ずお読みください」をご覧になり、制限事項を確認してください。
＊27：以下のOSとセレクションメニューの組合せは、インストール可能OSで使用できません。購入時にご注意ください。Windows® XP Home Editionでは、ミラーリング機能、デュアルディスプレイ機能。Windows® 2000 Professional/Serverでは、無線LAN機能と増設の100BASE-TX/10BASE-T LAN。この他にもインストール可能OSをご利用の際の制限事項がございますので＊26をご覧ください。
＊29：ハイパー・スレッディング・テクノロジはプリインストールモデルのみサポート。
＊30：1.2MBへの対応は、ドライバのセットアップが必要(標準添付)。1.44MB以外(720KB/1.2MB)はフォーマット不可。
＊32：搭載可能なPCI Express x16ボードサイズは、Low Profile：64（W）×167（D）mm以内となります。
＊33：DLSは「DownLoadable Sounds」の略です。DLSを使うと、カスタム・サウンド・セットをSoundMAXシンセサイザにロードできます。
＊34：ノイズ除去機能によって、音声入力信号から周辺雑音が取り除かれ、クリーンでクリアな信号がアプリケーションに渡されます。
＊36：「SP」は「Service Pack」の略称です。インストール可能OS用ドライバは（ ）内のService Packのバージョンにてインストール手順の確認をおこなっているものです。インストール可能OSを使用する場合は（ ）内のService Packを適用してご使用ください。別売のOSとService Packは別途入手が必要となります。

＊40：セレクションメニューにて「グラフィック系ボード」を選択しない場合。RADEON® X300 SE選択時はPCI Expressボード搭載の専用コネクタ(DMS-59コネクタ)にPCI Expressボード添付のRADEON® X300 SE用アナログディスプレイケーブルを使用し、ミニD-sub15ピン×2となり、I/Oプレート部に搭載されているアナログコネクタはご利用いただけません。
＊42：グラフィックアクセラレータの持つ最大発色数です。
＊44：Execute Disable Bit機能搭載。
＊45：3.5型ベイの空きスロット数を超えての接続は不可
＊46：国際エネルギースターに対応するため、一定時間、操作がない状態が続くと、省電力モード（システムスタンバイまたは休止状態）に入るため、ネットワーク構築環境によって適さない場合があります。
＊47：プリインストールのWindows® XP Professional以外では使用できません。
＊56：セレクションで「デジタルディスプレイ用コネクタボード」を選択した場合は、デジタルフラットパネル信号出力（TMDS）、DVI-D24ピンとなります。

◆セレクションメニュー*60

型名*1			MY36Y/G-G MJ36Y/G-G	MY34Y/G-G MJ34Y/G-G	MY30Y/G-G MJ30Y/G-G
再セットアップ用データ*61	HDD		再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納*83		
	CD-ROM		再セットアップ用CD-ROM添付 *86		
PCI Expressボード	グラフィックアクセラレータ		ATI社製 RADEON® X300 SE(PCI Express x16)		
		ビデオRAM	128MB DDR(PCI Express x16ボードに搭載)		
	ディスプレイ用コネクタ		デジタルディスプレイ用コネクタボード(DVI-D)*63		
		ビデオRAM	メインメモリより8〜128MBを自動的に使用		
メモリ*64*89	256MB		ECC無しDDR2-SDRAM、PC2-4200、256MB DIMM×1		
	512MB		ECC無しDDR2-SDRAM、PC2-4200、256MB DIMM×2		
	512MB		ECC無しDDR2-SDRAM、PC2-4200、512MB DIMM×1		
	1GB		ECC無しDDR2-SDRAM、PC2-4200、512MB DIMM×2		
	2GB		ECC無しDDR2-SDRAM、PC2-4200、1,024MB DIMM×2		
ハードディスク*66	40GB		約40GB、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応		
	80GB		約80GB、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応		
	160GB		約160GB、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応		
	40GB×2*68		約40GB×2、Serial ATA対応*85、7,200rpm、SMART機能対応		
	80GB×2*68		約80GB×2、Serial ATA対応*85、7,200rpm、SMART機能対応		
	120GB×2*87		約120GB×2、Ultra ATA-100対応、7,200rpm、SMART機能対応		
	160GB×2*68*88		約160GB×2、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応		
ミラーリング(RAID 1)			PROMISE社製 FAST TRAK 100 LP*85		
CD-ROM系*70	CD-ROM		最大24倍速		
	CD-R/RW with DVD-ROM*67*71*72		CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R書き込み:最大24倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速*74、DVD-ROM読み込み:最大8倍速、DVD-RAM読み込み:最大1倍速*76		
	DVDスーパーマルチドライブ*67*71*72		CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R書き込み:最大24倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速*74、DVD-ROM読み込み:最大8倍速、DVD-R読み込み:最大8倍速、DVD-R書き込み:最大8倍速*77、DVD+R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD+R(1層)書き込み:最大8倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大6倍速、DVD+R(2層)書き込み:最大2.4倍速*92、DVD-RW書き換え:最大4倍速*78、DVD+RW書き換え:最大4倍速、DVD-RAM読み込み:最大5倍速*76、DVD-RAM書き換え:最大5倍速*76		
通信機能	LAN		100BASE-TX/10BASE-T*80、IPsecハードウェアアクセラレーション機能装備		
	無線LAN(IEEE802.11a/b/g)*62		IEEE802.11a/b/g準拠*79*84、WPA2対応、WEP対応〔暗号鍵長64/128/152ビット(ユーザ設定鍵長40/104/128ビット)〕		
キーボード・マウス	USB 109キーボード& USBマウス(光センサー)		JIS標準配列(英数、かな)、109キーレイアウト、テンキー付き、USB1.1対応バスパワードハブ(2ポート)*82、USBインターフェイス、外形寸法:472(W)×179(D)×39(H)mm、質量:約1.2kg、USBマウス(光センサー式、スクロールホイール付き)添付		
	PS/2 109キーボード& PS/2マウス(ボール)		JIS標準配列(英数、かな)、109キーレイアウト、テンキー付き、PS/2インターフェイス、外形寸法:456(W)×169(D)×40(H)mm、質量:約0.9kg、PS/2マウス(ボール式、スクロールボタン付き)添付		
	テンキー付きUSB小型キーボード& USBマウス(光センサー)		JIS標準配列(英数、かな)、テンキー付き、USB1.1対応バスパワードハブ(2ポート)*82、USBインターフェイス、外形寸法:382(W)×179(D)×44(H)mm、質量:約1.2kg、USBマウス(光センサー式、スクロールホイール付き)添付		
	テンキー付きPS/2小型キーボード&PS/2マウス(ボール)		JIS標準配列(英数、かな)、テンキー付き、PS/2インターフェイス、外形寸法:382(W)×179(D)×44(H)mm、質量:約1.2kg、PS/2マウス(ボール式、スクロールボタン付き)添付		

*60: セレクションメニュー中の各オプションは単体販売は行っておりません。

*61: セレクションによっては、再セットアップ用CD-ROMは本体添付されておりません。HDDに格納してある再セットアップ用バックアップイメージ破損や誤って消去した場合などの媒体購入方法はhttp://nx-media.ssnet.co.jpをご参照ください。

*62: 業界団体Wi-Fi Allianceの標準規格「Wi-Fi®」認定を取得した無線LANモジュールを内蔵しております。

*63: デジタルディスプレイ用コネクタボードを選択した場合は、チップセットに内蔵のグラフィックアクセラレータ機能を使用します。

*64: チップセットに内蔵のグラフィックアクセラレータを使用する場合はビデオRAMとしても使用。

*66: 20GBがNTFS、残りもNTFSでフォーマット済み。また、最後の約2.5GBを再セットアップ領域として使用。ただしセレクションメニューで再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納されておりません。

*67: バッファアンダーランエラー防止機能付き。

*68: セレクションメニューにてStandbyDiskありを選択した場合、増設HDDは未フォーマットです。StandbyDiskを選択されない場合は、増設HDDはNTFSでフォーマット済み。

*70: コピーコントロールCD等の一部の音楽CDの作成および再生ができない場合があります。

*71: 書き込みツール「RecordNow/DLA」が添付されます。

*72: DVDビデオ再生ツール「InterVideo® WinDVD™ 5」が添付されます。

＊74：CD-RW メディアの書き換えにおいて、High Speed CD-RW メディアが使用できます。8 倍速以上で書き換えるには、High SpeedCD-RW メディアが必要です。
＊76：片面 4.7GB の DVD-RAM の速度です。カートリッジタイプの DVD-RAM メディア（TYPE1）はご使用できません。また標準でサポートされるフォーマットは FAT32 のみです。
＊77：DVD-R は DVD for General Ver2.0 に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
＊78：DVD-RW は、DVD-RW Ver1.1 に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
＊79：接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のアプリケーションソフトウェア、OS などによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。また、IEEE802.11b/g（2.4GHz）と IEEE802.11a（5GHz）は互換性がありません。
＊80：国際エネルギースターに対応するため、一定時間、操作がない状態が続くと、省電力モード（システムスタンバイまたは休止状態）に入るため、ネットワーク構築環境によって適さない場合があります。
＊82：USB コネクタから 100mA 以下の電流を消費する機器のみ接続できます。また、USB2.0 は未サポート。
＊83：HDD 内の約 2.5GB を再セットアップ領域として使用。これらの「再セットアップ用バックアップイメージ」を CD-R 媒体に書き出す場合には、ご購入時にセレクションメニューで CD-R/RW with DVD-ROM または DVD スーパーマルチドライブの選択が必要です。
＊84：Super AG™ に対応。Super AG™ 機能を使用するには、接続先の無線 LAN 機器も Super AG™ に対応している必要があります。
＊85：ミラーリング（RAID 1）を選択した場合は Ultra ATA-100、7,200rpm となります。
＊86：再セットアップ用 CD-ROM 添付を選択した場合、HDD に再セットアップ用バックアップイメージは格納されておりません。
＊87：ミラーリング（RAID 1）モデルのみ選択可能。
＊88：ミラーリング（RAID 1）モデルでは選択できません。
＊89：メモリを拡張する場合は、標準搭載されている増設 RAM ボードを取り外す必要がある場合があります。
＊92：DVD+R2 層書き込みは DVD+R（2 層）ディスクのみに対応しています。

2.スリムタワー型(高機能タイプ)

型名*1	MY34V/C-G MJ34V/C-G	MY30V/C-G MJ30V/C-G	MY25X/C-G MJ25X/C-G
CPU	インテル® Pentium® 4 プロセッサ		インテル® Celeron® D プロセッサ 325
CPU クロック周波数	3.40E GHz*2	3E GHz*2	2.53 GHz
キャッシュメモリ(CPU内蔵) 1次	12K μ命令実行トレース*3 / 16KB データ		
キャッシュメモリ(CPU内蔵) 2次	1,024KB		256KB
BIOS ROM (Flash ROM)	512KB、プラグ&プレイ対応		
システムバス	800MHz (メモリバス:400MHz)		533MHz (メモリバス:333MHz)
チップセット	インテル® 865G チップセット		
セキュリティチップ*47	TPM v1.1b 準拠		
グラフィックアクセラレータ	インテル® 865G (チップセットに内蔵)		
グラフィックアクセラレータ ビデオRAM	メインメモリより8〜96MBを自動的に使用		
最大メモリ(メインメモリ)	2GB [DIMMスロット×2] *31		
表示機能 解像度・表示色 640×480ドット(VGA)	最大1,677万色*42		
表示機能 解像度・表示色 800×600ドット(SVGA)	最大1,677万色*42		
表示機能 解像度・表示色 1,024×768ドット(XGA)	最大1,677万色*42		
表示機能 解像度・表示色 1,280×1,024ドット(SXGA)	最大1,677万色*5		
表示機能 解像度・表示色 1,600×1,200ドット(UXGA)	最大1,677万色*5*43		
サウンド機能 音源/サウンド機能	PCM録音再生機能(ステレオ/モノラル、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート8-48kHz、全二重化対応)、MIDI音源機能(ソフトウェアMIDI [GM、GS演奏モード対応、DLS2対応*33])、マイクノイズ除去機能*34、3Dポジショナルサウンド		
サウンド機能 スピーカ/スピーカ定格出力	アラームサウンド用モノラルスピーカ内蔵/1W*8		
サウンド機能 サウンドチップ	ADI社製 AD1981B搭載		
通信機能 LAN(ギガビットイーサネット)	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T*46、Remote Power On機能標準装備		
インターフェイス IEEE1394	IEEE1394×1 (4ピン)		
インターフェイス USB*11	4(本体前面×2、本体背面×2) [USB接続キーボード選択時、1ポートをキーボードで占有済] USB2.0対応*12		
インターフェイス パラレル	セントロニクス準拠 D-sub25ピン		
インターフェイス シリアル	RS-232C D-sub9ピン、最高115.2kbps対応		
インターフェイス ディスプレイ アナログRGB	アナログRGB セパレート信号出力(75Ωアナログインターフェイス)、ミニD-sub15ピン*14		
インターフェイス ディスプレイ DVI	—*58		
インターフェイス PS/2	ミニDIN6ピン×2 [PS/2接続キーボード選択時、キーボード及びマウスで占有済]		
インターフェイス 通信関連	RJ45 (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T) LANコネクタ		
インターフェイス サウンド関連 マイク入力	ステレオミニジャック×1 (マイク入力インピーダンス20kΩ、入力レベル5mVrms、バイアス電圧3.7V)		
インターフェイス サウンド関連 ライン入力	ステレオミニジャック×1 (入力インピーダンス20kΩ、入力レベル1Vrms)		
インターフェイス サウンド関連 ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック×1 (対応ヘッドフォンインピーダンス 16Ω-100Ω「推奨32Ω」、出力電力 5mW/32Ω)		
インターフェイス サウンド関連 ライン出力	ステレオミニジャック×1 (出力レベル 1Vrms、出力インピーダンス10kΩ)		
記憶装置 FDD	標準内蔵、3.5型、3モード(720KB/1.2MB/1.44MB)対応*30		
ベイ 増設用ATAコネクタ	Parallel ATA×1 (増設HDD選択時は占有済)		
ベイ 内蔵3.5型ベイ[空き]	2スロット(標準HDDで1スロット占有済) [1] *15		
拡張スロット AGPスロット[空き] *28	1スロット(Low Profile) (nVIDIA社製 GeForce™4 MX 440またはデジタルディスプレイ用コネクタボード選択時、グラフィックボードで占有済) [1]		
拡張スロット PCIスロット[空き] *18	2スロット(ハーフ×2) (ミラーリング(RAID 1)選択時は1スロット占有済) [2] *19		
電源	AC100V±10%、50/60Hz		
消費電力*22 (最大構成時)	約85W (最大約192W)	約81W (最大約185W)	約73W (最大約170W)
皮相電力*22 (最大構成時)	約87VA(最大約196VA)	約84VA(最大約189VA)	約74VA(最大約174VA)
エネルギー消費効率(省エネ基準達成率) *22*23	P区分 0.00028 (AAA)	P区分 0.00031 (AAA)	P区分 0.00037 (AAA)
電波障害対策	VCCI ClassB		
外形寸法(本体)	88 (W) ×326 (D) ×345 (H) mm (スタビライザ含まず)、 218 (W) ×326 (D) ×345 (H) mm (スタビライザ含む) *25		
質量(本体) *22	約8.4kg		
温湿度条件	10〜35℃、20〜80% (ただし結露しないこと)		
インストール可能OS *26*27*36	Windows® XP Professional (SP2) *29/Home Edition (SP2)、 Windows® 2000 Professional (SP4) /Server (SP4)、 Windows® 98 Second Edition (SPなし) *31		
主な添付品	電子マニュアル(一部印刷マニュアル)、サービスコンセント付き電源コード、保証書、スタビライザ、アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM		

＊ 1：セレクションメニューを選択した構成での型名・型番については、本書の『型番を控える』をご覧ください。
＊ 2：Windows® XP Professional を選択の場合、ハイパー・スレッディング・テクノロジ対応となります。ハイパー・スレッディング・テクノロジは必ずService Pack 1以上を適用した状態でご使用ください（出荷時はService Pack 2を適用済み）。MY34V/C-G、MJ34V/C-G、MY30V/C-GおよびMJ30V/C-Gのハイパー・スレッディング・テクノロジは工場出荷時OFFに設定されています。本機能を使用するためにはOSの再セットアップなど所定の手順に従う必要があります。
＊ 3：最大12,000のデコード済みマイクロ命令をキャッシュすることにより、命令デコードに要する時間を不要にします。
＊ 5：グラフィックアクセラレータの持つ解像度および色数の能力であり、接続するディスプレイによっては、表示できないことがあります。
＊ 8：内蔵スピーカはシステムのアラームを通知することを考慮して実装しております。オーディオ再生等の際は、別途スピーカまたはヘッドフォンをご使用願います。
＊11：別売のインストール可能OS使用時はOS用ドライバにUSB2.0ドライバは含まれません。
＊12：USB接続キーボードのUSBハブを経由すると、USB転送速度が最大12Mbpsに制限されます。
＊14：セレクションメニューにて「グラフィック系ボード」を選択しない場合。GeForce™4 MX 440選択時はAGPボードに搭載の専用コネクタ(LFHコネクタ)にAGPボードに添付のGeForce™4 MX 440用アナログディスプレイケーブルを使用し、ミニD-sub15ピン×2の構成となり、I/Oプレート部に搭載されているアナログコネクタはご利用いただけません。
＊15：増設HDD選択時は空きベイなし。
＊18：RAIDボードの取り外しはできません。なお、搭載可能なPCIボードサイズは、ハーフ：106（W）×176（D）mm以内となります。
＊19：ミラーリング（RAID 1）を選択した場合、拡張ROMを搭載した拡張PCIボード（SCSIなど）は使用できません。また、ミラーリングを選択した場合はネットワークブート機能を使用可能ですが、BIOSセットアップユーティリティにて設定の変更を行う必要があります。ただし、ミラーリングとnVIDIA社製GeForce™4 MX 440を選択された場合は、ネットワークブート機能を使用できません。
＊22：OSはWindows® XP Professional、メモリは256MB（エネルギー消費効率はメモリ2GB）、HDDは40GB（質量はHDD 160GB）、LAN、CD-ROM、FDD、USB109キーボード、USBマウス（ボール）の構成にて測定。（増設HDDは無し。また、MY34V/C-G、MJ34V/C-G、MY30V/C-GおよびMJ30V/C-Gではハイパー・スレッディング・テクノロジはoff。）
＊23：エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。省エネ基準達成率の表示語Aは達成率100％以上200％未満、AAは達成率200％以上500％未満、AAAは達成率500％以上を示します。
＊25：縦置き時の足以外の突起物含まず。
＊26：インストール可能OS用ドライバは本体に添付しておりません。また、Mate JではプリインストールされているOS以外は使用できません。「http://nec8.com/」の上段ボタン中「サポート情報」の「ダウンロード・OS情報・注意事項」→「ダウンロード」の「ビジネスPC（Mate&VersaPro）/ プリンタ（MultiWriter & MultiImpact）/PC周辺機器」の「インストール可能OS用ドライバ（サポートOS用ドライバ）」の「Mate」に順次掲載いたします。なお、インストール可能OSをご利用の際、インストール / 添付アプリケーションがご利用いただけない等、いくつか制限事項があります。必ずご購入前に、上記HPの「インストール可能OSをご利用になる前に必ずお読みください」をご覧になり、制限事項を確認してください。
＊27：以下のOSとセレクションメニューの組合せは、インストール可能OSで使用できません。購入時にご注意ください。Windows® XP Home EditionおよびWindows® 98 Second Editionでは、ミラーリング機能、デュアルディスプレイ機能がご利用いただけません。なお、メモリ2GB（1,024MB×2）を選択した場合は、Windows® 98 Second Editionは、ご利用いただけません。またWindows® 98 Second Editionは、APMモードは未サポートとなります。この他にもインストール可能OSをご利用の際の制限事項がございますので＊26をご覧ください。
＊28：搭載可能なAGPボードサイズは、Low Profile：64（W）×167（D）mm以内となります。
＊29：MY34V/C-G、MJ34V/C-G、MY30V/C-G、およびMJ30V/C-Gのハイパー・スレッディング・テクノロジはプリインストールモデルのみサポート。
＊30：1.2MBへの対応は、ドライバのセットアップが必要(標準添付)。1.44MB以外(720KB/1.2MB)はフォーマット不可。
＊31：メインメモリを512MBを超えて搭載した場合、Windows® 98 Second Editionはご利用になれません。
＊33：DLSは「DownLoadable Sounds」の略です。DLSを使うと、カスタム・サウンド・セットをSoundMAXシンセサイザにロードできます。
＊34：ノイズ除去機能によって、音声入力信号から周辺雑音が取り除かれ、クリーンでクリアな信号がアプリケーションに渡されます。
＊36：「SP」は「Service Pack」の略称です。インストール可能OS用ドライバは（ ）内のService Packのバージョンにてインストール手順の確認をおこなっているものです。インストール可能OSを使用する場合は（ ）内のService Packを適用してご使用ください。別売のOSとService Packは別途入手が必要となります。

＊42：グラフィックアクセラレータの持つ最大発色数です。
＊43：nVIDIA 社製 GeForce™4 MX 440 を選択時、オプションの「専用コネクター DVI-D（メス）デジタルディスプレイケーブル（PC-MA-K23）」を使用し、UXGA 対応デジタルディスプレイを接続した場合、UXGA 表示未対応です。（アナログディスプレイの場合は表示可能）
＊46：国際エネルギースターに対応するため、一定時間、操作がない状態が続くと、省電力モード（システムスタンバイまたは休止状態）に入るため、ネットワーク構築環境によって適さない場合があります。
＊47：プリインストールの Windows® XP Professional 以外では使用できません。
＊58：セレクションで「デジタルディスプレイ用コネクタボード」を選択した場合は、デジタルフラットパネル信号出力（TMDS）、DVI-D24 ピンとなります。またミニ D-sub15 ピンと DVI-D24 ピンの同時使用はできません。

◆セレクションメニュー*60

<table>
<tr><td colspan="3">型名*1</td><td>MY34V/C-G
MJ34V/C-G</td><td>MY30V/C-G
MJ30V/C-G</td><td>MY25X/C-G
MJ25X/C-G</td></tr>
<tr><td rowspan="2">再セットアップ用データ*61</td><td colspan="2">HDD</td><td colspan="3">再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納*83</td></tr>
<tr><td colspan="2">CD-ROM</td><td colspan="3">再セットアップ用CD-ROM添付*86</td></tr>
<tr><td rowspan="4">AGPボード</td><td colspan="2">グラフィックアクセラレータ</td><td colspan="3">nVIDIA社製 GeForce™4 MX 440（AGP 4X）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ビデオRAM</td><td colspan="3">64MB DDR（AGPボードに搭載）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ディスプレイ用コネクタ</td><td colspan="3">デジタルディスプレイ用コネクタボード（DVI-D）*63</td></tr>
<tr><td colspan="2">ビデオRAM</td><td colspan="3">メインメモリより8～96MBを自動的に使用</td></tr>
<tr><td rowspan="5">メモリ*64*89</td><td colspan="2">256MB</td><td colspan="3">ECC無しDDR-SDRAM、PC3200*65、256MB DIMM×1</td></tr>
<tr><td colspan="2">512MB</td><td colspan="3">ECC無しDDR-SDRAM、PC3200*65、256MB DIMM×2</td></tr>
<tr><td colspan="2">512MB</td><td colspan="3">ECC無しDDR-SDRAM、PC3200*65、512MB DIMM×1</td></tr>
<tr><td colspan="2">1GB</td><td colspan="3">ECC無しDDR-SDRAM、PC3200*65、512MB DIMM×2</td></tr>
<tr><td colspan="2">2GB</td><td colspan="3">ECC無しDDR-SDRAM、PC3200*65、1,024MB DIMM×2</td></tr>
<tr><td rowspan="7">ハードディスク*66</td><td colspan="2">40GB</td><td colspan="3">約40GB、Ultra ATA-100対応、7,200rpm、SMART機能対応</td></tr>
<tr><td colspan="2">80GB</td><td colspan="3">約80GB、Ultra ATA-100対応、7,200rpm、SMART機能対応</td></tr>
<tr><td colspan="2">160GB</td><td colspan="3">約160GB、Ultra ATA-100対応、7,200rpm、SMART機能対応</td></tr>
<tr><td colspan="2">40GB×2*68</td><td colspan="3">約40GB×2、Ultra ATA-100対応、7,200pm、SMART機能対応</td></tr>
<tr><td colspan="2">80GB×2*68</td><td colspan="3">約80GB×2、Ultra ATA-100対応、7,200rpm、SMART機能対応</td></tr>
<tr><td colspan="2">120GB×2*87</td><td colspan="3">約120GB×2、Ultra ATA-100対応、7,200rpm、SMART機能対応</td></tr>
<tr><td colspan="2">160GB×2*68*88</td><td colspan="3">約160GB×2、Ultra ATA-100対応、7,200rpm、SMART機能対応</td></tr>
<tr><td colspan="3">ミラーリング（RAID 1）</td><td colspan="3">PROMISE社製 FAST TRAK 100 LP</td></tr>
<tr><td rowspan="3">CD-ROM系*70</td><td colspan="2">CD-ROM</td><td colspan="3">最大24倍速</td></tr>
<tr><td colspan="2">CD-R/RW with DVD-ROM*67*71*72</td><td colspan="3">CD-ROM読み込み：最大24倍速、CD-R書き込み：最大24倍速、CD-RW書き換え：最大10倍速*74、DVD-ROM読み込み：最大8倍速、DVD-RAM読み込み：最大1倍速*76</td></tr>
<tr><td colspan="2">DVDスーパーマルチドライブ*67*71*72</td><td colspan="3">CD-ROM読み込み：最大24倍速、CD-R書き込み：最大24倍速、CD-RW書き換え：最大10倍速*74、DVD-ROM読み込み：最大8倍速、DVD-R読み込み：最大8倍、DVD-R書き込み：最大8倍速*77、DVD+R（1層）読み込み、：最大8倍速、DVD+R（1層）書き込み：最大8倍速、DVD+R（2層）読み込み、：最大6倍速、DVD+R（2層）書き込み：最大2.4倍速*92、DVD-RW書き換え：最大4倍速*78、DVD+RW書き換え：最大4倍速、DVD-RAM読み込み：最大5倍速*76、DVD-RAM書き換え：最大5倍速*76</td></tr>
<tr><td rowspan="4">キーボード・マウス</td><td colspan="2">USB 109キーボード&USBマウス（光センサー）</td><td colspan="3">JIS標準配列（英数、かな）、109キーレイアウト、テンキー付き、USB1.1対応バスパワードハブ（2ポート）*82、USBインターフェイス、外形寸法：472（W）×179（D）×39（H）mm、質量：約1.2kg、USBマウス（光センサー式、スクロールホイール付き）添付</td></tr>
<tr><td colspan="2">PS/2 109キーボード&PS/2マウス（ボール）</td><td colspan="3">JIS標準配列（英数、かな）、109キーレイアウト、テンキー付き、PS/2インターフェイス、外形寸法：456（W）×169（D）×40（H）mm、質量：約0.9kg、PS/2マウス（ボール式、スクロールボタン付き）添付</td></tr>
<tr><td colspan="2">テンキー付きUSB小型キーボード&USBマウス（光センサー）</td><td colspan="3">JIS標準配列（英数、かな）、テンキー付き、USB1.1対応バスパワードハブ（2ポート）*82、USBインターフェイス、外形寸法：382（W）×179（D）×44（H）mm、質量：約1.2kg、USBマウス（光センサー式、スクロールホイール付き）添付</td></tr>
<tr><td colspan="2">テンキー付きPS/2小型キーボード&PS/2マウス（ボール）</td><td colspan="3">JIS標準配列（英数、かな）、テンキー付き、PS/2インターフェイス、外形寸法：382（W）×179（D）×44（H）mm、質量：約1.2kg、PS/2マウス（ボール式、スクロールボタン付き）添付</td></tr>
</table>

＊60：セレクションメニュー中の各オプションは単体販売は行っておりません。
＊61：セレクションによっては、再セットアップ用CD-ROMは本体添付されておりません。HDDに格納してある再セットアップ用バックアップイメージ破損や誤って消去した場合などの媒体購入方法はhttp://nx-media.ssnet.co.jpをご参照ください。
＊63：デジタルディスプレイ用コネクタボードを選択した場合は、チップセットに内蔵のグラフィックアクセラレータ機能を使用します。
＊64：チップセットに内蔵のグラフィックアクセラレータを使用する場合はビデオRAMとしても使用。
＊65：MY25X/C-GおよびMJ25X/C-Gはメモリバス333MHz（PC2700相当）で動作します。
＊66：20GBがNTFS、残りもNTFSでフォーマット済み。また、最後の約2.5GBを再セットアップ領域として使用。ただしセレクションメニューで再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納されておりません。
＊67：バッファアンダーランエラー防止機能付き。
＊68：セレクションメニューにてStandbyDiskありを選択した場合、増設HDDは未フォーマットです。StandbyDiskを選択されない場合は、増設HDDはNTFSでフォーマット済み。
＊70：コピーコントロールCD等の一部の音楽CDの作成および再生ができない場合があります。
＊71：書き込みツール「RecordNow/DLA」が添付されます。
＊72：DVDビデオ再生ツール「InterVideo® WinDVD™ 5」が添付されます。
＊74：CD-RWメディアの書き換えにおいて、High Speed CD-RWメディアが使用できます。8倍速以上で書き換えるには、High SpeedCD-RWメディアが必要です。

＊76：片面4.7GBのDVD-RAMの速度です。カートリッジタイプのDVD-RAMメディア（TYPE1）はご使用できません。また標準でサポートされるフォーマットはFAT32のみです。
＊77：DVD-RはDVD for General Ver2.0に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
＊78：DVD-RWは、DVD-RW Ver1.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
＊82：USBコネクタから100mA以下の電流を消費する機器のみ接続できます。また、USB2.0は未サポート。
＊83：HDD内の約2.5GBを再セットアップ領域として使用。これらの「再セットアップ用バックアップイメージ」をCD-R媒体に書き出す場合には、ご購入時にセレクションメニューでCD-R/RW with DVD-ROMまたはDVDスーパーマルチドライブの選択が必要です。
＊86：再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納されておりません。
＊87：ミラーリング（RAID 1）モデルのみ選択可能。
＊88：ミラーリング（RAID 1）モデルでは選択できません。
＊89：メモリを拡張する場合は、標準搭載されている増設RAMボードを取り外す必要がある場合があります。
＊92：DVD+R 2層書き込みはDVD+R（2層）ディスクのみに対応しています。

3.スリムタワー型(スタンダードタイプ)

項目					
型名＊1			MY32V/L-G MJ32V/L-G	MY28V/L-G MJ28V/L-G	MY25X/L-G MJ25X/L-G
CPU			インテル® Pentium® 4 プロセッサ		インテル® Celeron® D プロセッサ 325
	クロック周波数		3.20E GHz＊2	2.80A GHz	2.53 GHz
キャッシュメモリ(CPU内蔵)	1次		12K μ命令実行トレース＊3 / 16KBデータ		
	2次		1,024KB		256KB
BIOS ROM(Flash ROM)			512KB、プラグ&プレイ対応		
システムバス			800MHz(メモリバス:400MHz)	533MHz(メモリバス:333MHz)	
チップセット			インテル® 865GV チップセット		
セキュリティチップ＊47			TPM v1.1b準拠		
グラフィックアクセラレータ			インテル® 865GV(チップセットに内蔵)		
	ビデオRAM		メインメモリより8〜96MBを自動的に使用		
最大メモリ(メインメモリ)			2GB [DIMMスロット×2] ＊31		
表示機能	解像度・表示色	640×480ドット(VGA)	最大1,677万色＊42		
		800×600ドット(SVGA)	最大1,677万色＊42		
		1,024×768ドット(XGA)	最大1,677万色＊42		
		1,280×1,024ドット(SXGA)	最大1,677万色＊5		
		1,600×1,200ドット(UXGA)	最大1,677万色＊5		
サウンド機能	音源/サウンド機能		PCM録音再生機能(ステレオ/モノラル、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート8-48kHz、全二重化対応)、MIDI音源機能(ソフトウェアMIDI [GM、GS演奏モード対応、DLS2対応＊33])、マイクノイズ除去機能＊34、3Dポジショナルサウンド		
	スピーカ/スピーカ定格出力		アラームサウンド用モノラルスピーカ内蔵/1W＊8		
	サウンドチップ		ADI社製 AD1981B搭載		
通信機能	LAN(ギガビットイーサネット)		1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T＊46、Remote Power On機能標準装備		
インターフェイス	USB＊11		4(本体前面×2、本体背面×2)[USB接続キーボード選択時、1ポートをキーボードで占有済] USB2.0対応＊12		
	パラレル		セントロニクス準拠 D-sub25ピン		
	シリアル		RS-232C D-sub9ピン、最高115.2kbps対応		
	ディスプレイ	アナログRGB	アナログRGB セパレート信号出力(75Ωアナログインターフェイス)、ミニD-sub15ピン		
	PS/2		ミニDIN6ピン×2 [PS/2接続キーボード選択時、キーボード及びマウスで占有済]		
	通信関連		RJ45(1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T)LANコネクタ		
	サウンド関連	マイク入力	ステレオミニジャック×1(マイク入力インピーダンス20kΩ、入力レベル5mVrms、バイアス電圧3.7V)		
		ライン入力	ステレオミニジャック×1(入力インピーダンス20kΩ、入力レベル1Vrms)		
		ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック×1(対応ヘッドフォンインピーダンス 16Ω-100Ω「推奨32Ω」、出力電力 5mW/32Ω)		
		ライン出力	ステレオミニジャック×1(出力レベル 1Vrms、出力インピーダンス10kΩ)		
記憶装置	FDD		標準内蔵、3.5型、3モード(720KB/1.2MB/1.44MB)対応＊30		
ベイ	増設用ATAコネクタ		Parallel ATA×1(増設HDD選択時は占有済)		
	内蔵3.5型ベイ [空き]		2スロット(標準HDDで1スロット占有済)[1]＊15		
拡張スロット	PCIスロット[空き]＊18		2スロット(ハーフ×2)(ミラーリング(RAID 1)選択時は1スロット占有済)[2]＊19		
電源			AC100V±10%、50/60Hz		
消費電力＊22(最大構成時)			約83W(最大約189W)	約80W(最大約184W)	約69W(最大約166W)
皮相電力＊22(最大構成時)			約84VA(最大約192VA)	約81VA(最大約188VA)	約70VA(最大約170VA)
エネルギー消費効率(省エネ基準達成率)＊22＊23			P区分 0.00028(AAA)	P区分 0.00032(AAA)	P区分 0.00036(AAA)
電波障害対策			VCCI ClassB		
外形寸法(本体)			88(W)×326(D)×345(H)mm(スタビライザ含まず)、 218(W)×326(D)×345(H)mm(スタビライザ含む)＊25		
質量(本体)＊22			約8.3kg		
温湿度条件			10〜35℃、20〜80%(ただし結露しないこと)		
インストール可能OS ＊26＊27＊36			Windows® XP Professional (SP2)＊29/Home Edition (SP2)、 Windows® 2000 Professional (SP4)/Server (SP4)、 Windows® 98 Second Edition (SPなし)＊31		
主な添付品			電子マニュアル(一部印刷マニュアル)、サービスコンセント付き電源コード、保証書、スタビライザ、アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM		

＊　1：セレクションメニューを選択した構成での型名・型番については、本書の『型番を控える』をご覧ください。
＊　2：Windows® XP Professional を選択の場合、ハイパー・スレッディング・テクノロジ対応となります。ハイパー・スレッディング・テクノロジは必ずService Pack 1 以上を適用した状態でご使用ください（出荷時は Service Pack 2 を適用済み）。MY32V/L-G および MJ32V/L-G のハイパー・スレッディング・テクノロジは工場出荷時 OFF に設定されています。本機能を使用するためには OS の再セットアップなど所定の手順に従う必要があります。
＊　3：最大 12,000 のデコード済みマイクロ命令をキャッシュすることにより、命令デコードに要する時間を不要にします。
＊　5：グラフィックアクセラレータの持つ解像度および色数の能力であり、接続するディスプレイによっては、表示できないことがあります。
＊　8：内蔵スピーカはシステムのアラームを通知することを考慮して実装しております。オーディオ再生等の際は、別途スピーカまたはヘッドフォンをご使用願います。
＊11：別売のインストール可能 OS 使用時は OS 用ドライバに USB2.0 ドライバは含まれません。
＊12：USB 接続キーボードの USB ハブを経由すると、USB 転送速度が最大 12Mbps に制限されます。
＊15：増設 HDD 選択時は空きベイなし。
＊18：RAID ボードの取り外しはできません。なお、搭載可能な PCI ボードサイズは、ハーフ：106（W）× 176（D）mm 以内となります。
＊19：ミラーリング（RAID 1）を選択した場合、拡張 ROM を搭載した拡張 PCI ボード（SCSI など）は使用できません。また、ミラーリングを選択した場合はネットワークブート機能を使用可能ですが、BIOSセットアップユーティリティにて設定の変更を行う必要があります。
＊22：OS は Windows® XP Professional、メモリは 256MB（エネルギー消費効率はメモリ 2GB）、HDD は 40GB（質量は HDD 160GB）、LAN、CD-ROM、FDD、USB109 キーボード、USB マウス（ボール）の構成にて測定。（増設 HDD は無し。また、MY32V/L-G および MJ32V/L-G ではハイパー・スレッディング・テクノロジは Off。）
＊23：エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。省エネ基準達成率の表示語 A は達成率 100% 以上 200% 未満、AA は達成率 200% 以上 500% 未満、AAA は達成率 500% 以上を示します。
＊25：縦置き時の足以外の突起物含まず。
＊26：インストール可能OS用ドライバは本体に添付しておりません。また、Mate JではプリインストールされているOS以外は使用できません。「http://nec8.com/」の上段ボタン中「サポート情報」の「ダウンロード・OS 情報・注意事項」→「ダウンロード」の「ビジネス PC（Mate&VersaPro）/ プリンタ（MultiWriter&MultiImpact）/PC 周辺機器」の「インストール可能 OS 用ドライバ（サポート OS 用ドライバ）」の「Mate」に順次掲載いたします。なお、インストール可能 OS をご利用の際、インストール / 添付アプリケーションがご利用いただけない等、いくつか制限事項があります。必ずご購入前に、上記HPの「インストール可能OS をご利用になる前に必ずお読みください」をご覧になり、制限事項を確認してください。
＊27：以下のOSとセレクションメニューの組合せは、インストール可能OSで使用できません。購入時にご注意ください。Windows® XP Home Edition および Windows® 98 Second Edition では、ミラーリング機能がご利用いただけません。なお、メモリ 2GB（1,024MB × 2）を選択した場合は、Windows® 98 Second Edition は、ご利用いただけません。また Windows® 98 Second Edition は、APM モードは未サポートとなります。この他にもインストール可能 OS をご利用の際の制限事項がございますので＊ 26 をご覧ください。
＊29：MY32V/L-G、および MJ32V/L-G のハイパー・スレッディング・テクノロジはプリインストールモデルのみサポート。
＊30：1.2MB への対応は、ドライバのセットアップが必要(標準添付)。1.44MB 以外(720KB/1.2MB)はフォーマット不可。
＊31：メインメモリを 512MB を超えて搭載した場合、Windows® 98 Second Edition はご利用になれません。
＊33：DLS は「DownLoadable Sounds」の略です。DLS を使うと、カスタム・サウンド・セットを SoundMAX シンセサイザにロードできます。
＊34：ノイズ除去機能によって、音声入力信号から周辺雑音が取り除かれ、クリーンでクリアな信号がアプリケーションに渡されます。
＊36：「SP」は「Service Pack」の略称です。インストール可能 OS 用ドライバは（ ）内の Service Pack のバージョンにてインストール手順の確認をおこなっているものです。インストール可能 OS を使用する場合は（ ）内の Service Pack を適用してご使用ください。別売の OS と Service Pack は別途入手が必要となります。
＊42：グラフィックアクセラレータの持つ最大発色数です。
＊46：国際エネルギースターに対応するため、一定時間、操作がない状態が続くと、省電力モード（システムスタンバイまたは休止状態）に入るため、ネットワーク構築環境によって適さない場合があります。
＊47：プリインストールの Windows® XP Professional 以外では使用できません。

◆セレクションメニュー*60

型名*1		MY32V/L-G MJ32V/L-G	MY28V/L-G MJ28V/L-G	MY25X/L-G MJ25X/L-G
再セットアップ用データ*61	HDD	再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納*83		
	CD-ROM	再セットアップ用CD-ROM添付*86		
メモリ*64*89	256MB	ECC無しDDR-SDRAM、PC3200*65、256MB DIMM×1		
	512MB	ECC無しDDR-SDRAM、PC3200*65、256MB DIMM×2		
	512MB	ECC無しDDR-SDRAM、PC3200*65、512MB DIMM×1		
	1GB	ECC無しDDR-SDRAM、PC3200*65、512MB DIMM×2		
	2GB	ECC無しDDR-SDRAM、PC3200*65、1,024MB DIMM×2		
ハードディスク*66	40GB	約40GB、Ultra ATA-100対応、7,200rpm、SMART機能対応		
	80GB	約80GB、Ultra ATA-100対応、7,200rpm、SMART機能対応		
	160GB	約160GB、Ultra ATA-100対応、7,200rpm、SMART機能対応		
	40GB×2*68	約40GB×2、Ultra ATA-100対応、7,200pm、SMART機能対応		
	80GB×2*68	約80GB×2、Ultra ATA-100対応、7,200rpm、SMART機能対応		
	120GB×2*87	約120GB×2、Ultra ATA-100対応、7,200rpm、SMART機能対応		
	160GB×2*68*88	約160GB×2、Ultra ATA-100対応、7,200rpm、SMART機能対応		
ミラーリング(RAID 1)		PROMISE社製 FAST TRAK 100 LP*73		
CD-ROM系*70	CD-ROM	最大24倍速		
	CD-R/RW with DVD-ROM*67*71*72	CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R書き込み:最大24倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速*74、DVD-ROM読み込み:最大8倍速、DVD-RAM読み込み:最大1倍速*76		
	DVDスーパーマルチドライブ*67*71*72	CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R書き込み:最大24倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速*74、DVD-ROM読み込み:最大8倍速、DVD-R読み込み:最大8倍速、DVD-R書き込み:最大8倍速*77、DVD+R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD+R(1層)書き込み:最大8倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大6倍速、DVD+R(2層)書き込み:最大2.4倍速*92、DVD-RW書き換え:最大4倍速*78、DVD+RW書き換え:最大4倍速、DVD-RAM読み込み:最大5倍速*76、DVD-RAM書き換え:最大5倍速*76		
キーボード・マウス	USB 109キーボード&USBマウス(光センサー)	JIS標準配列(英数、かな)、109キーレイアウト、テンキー付き、USB1.1対応バスパワードハブ(2ポート)*82、USBインターフェイス、外形寸法:472(W)×179(D)×39(H)mm、質量:約1.2kg、USBマウス(光センサー式、スクロールホイール付き)添付		
	PS/2 109キーボード&PS/2マウス(ボール)	JIS標準配列(英数、かな)、109キーレイアウト、テンキー付き、PS/2インターフェイス、外形寸法:456(W)×169(D)×40(H)mm、質量:約0.9kg、PS/2マウス(ボール式、スクロールボタン付き)添付		
	テンキー付きUSB小型キーボード&USBマウス(光センサー)	JIS標準配列(英数、かな)、テンキー付き、USB1.1対応バスパワードハブ(2ポート)*82、USBインターフェイス、外形寸法:382(W)×179(D)×44(H)mm、質量:約1.2kg、USBマウス(光センサー式、スクロールホイール付き)添付		
	テンキー付きPS/2小型キーボード&PS/2マウス(ボール)	JIS標準配列(英数、かな)、テンキー付き、PS/2インターフェイス、外形寸法:382(W)×179(D)×44(H)mm、質量:約1.2kg、PS/2マウス(ボール式、スクロールボタン付き)添付		

*60: セレクションメニュー中の各オプションは単体販売は行っておりません。
*61: セレクションによっては、再セットアップ用CD-ROMは本体添付されておりません。HDDに格納してある再セットアップ用バックアップイメージ破損や誤って消去した場合などの媒体購入方法はhttp://nx-media.ssnet.co.jpをご参照ください。
*64: ビデオRAMとしても使用。
*65: MY28V/L-G、MJ28V/L-G、MY25X/L-GおよびMJ25X/L-GはメモリバスZ333MHz(PC2700相当)で動作します。
*66: 20GBがNTFS、残りもNTFSでフォーマット済み。また、最後の約2.5GBを再セットアップ領域として使用。ただしセレクションメニューで再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納されておりません。
*67: バッファアンダーランエラー防止機能付き。
*68: セレクションメニューにてStandbyDiskありを選択した場合、増設HDDは未フォーマットです。StandbyDiskを選択されない場合は、増設HDDはNTFSでフォーマット済み。
*70: コピーコントロールCD等の一部の音楽CDの作成および再生ができない場合があります。
*71: 書き込みツール「RecordNow/DLA」が添付されます。
*72: DVDビデオ再生ツール「InterVideo® WinDVD™ 5」が添付されます。
*74: CD-RWメディアの書き換えにおいて、High Speed CD-RWメディアが使用できます。8倍速以上で書き換えるには、High SpeedCD-RWメディアが必要です。
*76: 片面4.7GBのDVD-RAMの速度です。カートリッジタイプのDVD-RAMメディア(TYPE1)はご使用できません。また標準でサポートされるフォーマットはFAT32のみです。
*77: DVD-RはDVD for General Ver2.0に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
*78: DVD-RWは、DVD-RW Ver1.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
*82: USBコネクタから100mA以下の電流を消費する機器のみ接続できます。また、USB2.0は未サポート。

＊83：HDD内の約2.5GBを再セットアップ領域として使用。これらの「再セットアップ用バックアップイメージ」をCD-R媒体に書き出す場合には、ご購入時にセレクションメニューでCD-R/RW with DVD-ROMまたはDVDスーパーマルチドライブの選択が必要です。
＊86：再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納されておりません。
＊87：ミラーリング（RAID 1）モデルのみ選択可能。
＊88：ミラーリング（RAID 1）モデルでは選択できません。
＊89：メモリを拡張する場合は、標準搭載されている増設RAMボードを取り外す必要がある場合があります。
＊92：DVD+R 2層書き込みはDVD+R（2層）ディスクのみに対応しています。

4.スリムタワー型(バリュータイプ)

項目				
型名*1			MY28V/R-G MJ28V/R-G	MY25X/R-G MJ25X/R-G
CPU			インテル® Pentium® 4 プロセッサ 520J	インテル® Celeron® D プロセッサ 325
	クロック周波数		2.80 GHz	2.53 GHz
キャッシュメモリ(CPU内蔵)	1次		12K μ命令実行トレース*3 / 16KBデータ	
	2次		1,024KB	256KB
BIOS ROM (Flash ROM)			512KB、プラグ&プレイ対応	
システムバス			800MHz (メモリバス:400MHz)	533MHz (メモリバス:333MHz)
チップセット			インテル® 915GV Express チップセット	インテル® 845GV チップセット
グラフィックアクセラレータ			インテル® 915GV Express (チップセットに内蔵)	インテル® 845GV (チップセットに内蔵)
	ビデオRAM		メインメモリより8〜128MBを自動的に使用	メインメモリより8〜64MBを自動的に使用
最大メモリ (メインメモリ)			3GB [DIMMスロット×4]	2GB [DIMMスロット×2]
表示機能	解像度・表示色	640×480ドット(VGA)	最大1,677万色*42	
		800×600ドット(SVGA)	最大1,677万色*42	
		1,024×768ドット(XGA)	最大1,677万色*42	
		1,280×1,024ドット(SXGA)	最大1,677万色*5	
		1,600×1,200ドット(UXGA)	最大1,677万色*5	
サウンド機能	音源/サウンド機能		PCM録音再生機能(ステレオ/モノラル、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート8-48kHz、全二重化対応)、MIDI音源機能(ソフトウェアMIDI [GS演奏モード対応])、3Dポジショナルサウンド	PCM録音再生機能(ステレオ/モノラル、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート8-48kHz、全二重化対応)、MIDI音源機能(ソフトウェアMIDI[GM、GS演奏モード対応、DLS2対応*33])、マイクノイズ除去機能*34、3Dポジショナルサウンド
	スピーカ/スピーカ定格出力		−*9	
	サウンドチップ		Realtek社製 ALC658搭載	ADI社製 AD1981B搭載
通信機能	LAN		−	100BASE-TX/10BASE-T*46、Remote Power On機能標準装備
	LAN (ギガビットイーサネット)		1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T*46、Remote Power On機能標準装備	−
インターフェイス	USB*11		6 (本体前面×2、本体背面×4)、USB2.0対応	
	パラレル		セントロニクス準拠 D-sub25ピン	
	シリアル		RS-232C D-sub9ピン、最高115.2kbps対応	
	ディスプレイ	アナログRGB	アナログRGB セパレート信号出力(75Ωアナログインターフェイス)、ミニD-sub15ピン	
	PS/2		ミニDIN6ピン×2 [キーボード及びマウスで占有済]	
	通信関連		RJ45 (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T) LANコネクタ、RJ11モジュラーコネクタ(FAXモデム選択時のみ)	RJ45 (100BASE-TX/10BASE-T) LANコネクタ*16、RJ11モジュラーコネクタ(FAXモデム選択時のみ)
	サウンド関連	マイク入力	ステレオミニジャック×1 (マイク入力インピーダンス64kΩ、入力レベル5mVrms、バイアス電圧2.5V)	ステレオミニジャック×1 (マイク入力インピーダンス20kΩ、入力レベル5mVrms、バイアス電圧2.5V)
		ライン入力	ステレオミニジャック×1 (入力インピーダンス64kΩ、入力レベル1Vrms[最大2Vrms])	ステレオミニジャック×1 (入力インピーダンス20kΩ、入力レベル1Vrms[最大2Vrms])
		ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック×1 (対応ヘッドフォンインピーダンス 16Ω-100Ω「推奨32Ω」*59、出力電力 5mW/32Ω)	
		ライン出力	ヘッドフォン出力と共用 (出力レベル 1.2Vrms、出力インピーダンス1kΩ)	ヘッドフォン出力と共用 (出力レベル 1Vrms、出力インピーダンス10kΩ)
記憶装置	FDD		標準内蔵、3.5型、3モード(720KB/1.2MB/1.44MB)対応*30	
ベイ	3.5型ベイ [空き]		1スロット(FDDで占有済) [0]	
	内蔵3.5型ベイ [空き]		1スロット(標準HDDで占有済) [0]	
	5型ベイ [空き]		1スロット(CD-ROM、CD-R/RW with DVD-ROMまたはDVDスーパーマルチドライブで占有済) [0]	
拡張スロット	PCIスロット[空き]*18		2スロット(ハーフ(Low Profile)×2) [2] (FAXモデム選択時は1スロット占有済)	2スロット(ハーフ(Low Profile)×2) [2] (LAN(ギガビットイーサネット)またはFAXモデム選択時は1スロット占有済)
電源			AC100V±10%、50/60Hz	
消費電力*22 (最大構成時)			約86W (最大約184W)	約71W (最大約173W)
皮相電力*22 (最大構成時)			約118VA (最大約253VA)	約98VA (最大約239VA)
エネルギー消費効率(省エネ基準達成率)*22*23			P区分 0.00035 (AAA)	P区分 0.00037 (AAA)

型名＊1	MY28V/R-G MJ28V/R-G	MY25X/R-G MJ25X/R-G
電波障害対策	VCCI ClassB	
外形寸法（本体）	98（W）×385（D）×343（H）mm（スタビライザ含まず）、 220（W）×385（D）×343（H）mm（スタビライザ含む）＊25	
質量（本体）＊22	約9.7kg	約9.8kg
温湿度条件	10～35℃、20～80%（ただし結露しないこと）	
インストール可能OS ＊26＊27＊36	Windows® XP Professional（SP2）/Home Edition（SP2）、 Windows® 2000 Professional（SP4）/Server（SP4）	
主な添付品	電子マニュアル（一部印刷マニュアル）、電源コード、保証書、スタビライザ、アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM	

＊ 1：セレクションメニューを選択した構成での型名・型番については、本書の『型番を控える』をご覧ください。

＊ 3：最大12,000のデコード済みマイクロ命令をキャッシュすることにより、命令デコードに要する時間を不要にします。

＊ 5：グラフィックアクセラレータの持つ解像度および色数の能力であり、接続するディスプレイによっては、表示できないことがあります。

＊ 9：音源再生には外付スピーカが必要です。（本体ライン出力端子使用）

＊11：別売のインストール可能OS使用時はOS用ドライバにUSB2.0ドライバは含まれません。

＊16：ギガビットイーサネット選択時、1000BASE-Tも対応します。

＊18：LANボードおよびFAXモデムボードの取り外しはできません。なお、搭載可能なPCIボードサイズは、ハーフ（Low Profile）：64（W）×167（D）mm以内となります。

＊22：OSはWindows® XP Professional、メモリは256MB（エネルギー消費効率は最大容量メモリ）、HDDは40GB（質量はHDD 160MB）、LAN、CD-ROM、FDD、PS/2 109キーボード、PS/2マウスの構成にて測定。

＊23：エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。省エネ基準達成率の表示語Aは達成率100%以上200%未満、AAは達成率200%以上500%未満、AAAは達成率500%以上を示します。

＊25：縦置き時の足以外の突起物含まず。

＊26：インストール可能OS用ドライバは本体に添付しておりません。また、Mate Jではプリインストールされている OS以外は使用できません。「http://nec8.com/」の上段ボタン中「サポート情報」の「ダウンロード・OS情報・注意事項」→「ダウンロード」の「ビジネスPC（Mate&VersaPro）/プリンタ（MultiWriter&MultiImpact）/PC周辺機器」の「インストール可能OS用ドライバ（サポートOS用ドライバ）」の「Mate」に順次掲載いたします。なお、インストール可能OSをご利用の際、インストール/添付アプリケーションがご利用いただけない等、いくつか制限事項があります。必ずご購入前に、上記HPの「インストール可能OSをご利用になる前に必ずお読みください」をご覧になり、制限事項を確認してください。

＊27：以下のOSとセレクションメニューの組合せは、インストール可能OSで使用できません。購入時にご注意ください。Windows® 2000 Professional/Serverでは、FAXモデム、ギガビットイーサネット（MY25X/R-GおよびMJ25X/R-Gのみ）がご利用いただけません。この他にもインストール可能OSをご利用の際の制限事項がございますので＊26をご覧ください。

＊30：1.2MBへの対応は、ドライバのセットアップが必要(標準添付)。1.44MB以外(720KB/1.2MB)はフォーマット不可。

＊33：DLSは「DownLoadable Sounds」の略です。DLSを使うと、カスタム・サウンド・セットをSoundMAXシンセサイザにロードできます。

＊34：ノイズ除去機能によって、音声入力信号から周辺雑音が取り除かれ、クリーンでクリアな信号がアプリケーションに渡されます。

＊36：「SP」は「Service Pack」の略称です。インストール可能OS用ドライバは（ ）内のService Packのバージョンにてインストール手順の確認をおこなっているものです。インストール可能OSを使用する場合は（ ）内のService Packを適用してご使用ください。別売のOSとService Packは別途入手が必要となります。

＊42：グラフィックアクセラレータの持つ最大発色数です。

＊46：国際エネルギースターに対応するため、一定時間、操作がない状態が続くと、省電力モード（システムスタンバイまたは休止状態）に入るため、ネットワーク構築環境によって適さない場合があります。

＊59：周波数特性を保証する値ではありません。

◆セレクションメニュー*60

型名*1		MY28V/R-G MJ28V/R-G	MY25X/R-G MJ25X/R-G
再セットアップ用データ*61	HDD	再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納*83	
	CD-ROM	再セットアップ用CD-ROM添付 *86	
メモリ*64*89	256MB	ECC無しDDR-SDRAM、PC3200*65、256MB DIMM×1	
	512MB	ECC無しDDR-SDRAM、PC3200*65、512MB DIMM×1	
	1GB	ECC無しDDR-SDRAM、PC3200*65、512MB DIMM×2	
	2GB	ECC無しDDR-SDRAM、PC3200*65、1,024MB DIMM×2	
ハードディスク*66	40GB	約40GB、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応	約40GB、Ultra ATA-100対応、7,200rpm、SMART機能対応
	80GB	約80GB、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応	約80GB、Ultra ATA-100対応、7,200rpm、SMART機能対応
	160GB	約160GB、Serial ATA対応、7,200rpm、SMART機能対応	約160GB、Ultra ATA-100対応、7,200rpm、SMART機能対応
CD-ROM系*70	CD-ROM*75	最大40倍速	
	CD-R/RW with DVD-ROM*67*71*72*75	CD-ROM読み込み:最大40倍速、CD-R書き込み:最大40倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速*74、DVD-ROM読み込み:最大16倍速、DVD-RAM読み込み:最大2倍速*76	
	DVDスーパーマルチドライブ*67*71*72*75	CD-ROM読み込み:最大40倍速 、CD-R書き込み:最大40倍速 、CD-RW書き換え:最大10倍速*74、DVD-ROM読み込み:最大16倍速、DVD-R読み込み:最大12倍速、DVD-R書き込み:最大16倍速*77、DVD+R(1層)読み込み:最大12倍速、DVD+R(1層)書き込み:最大16倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大8倍速、DVD+R(2層)書き込み:最大4倍速*92、DVD-RW書き換え:最大6倍速*78、DVD+RW書き換え:最大8倍速、DVD-RAM読み込み:最大5倍速*76、DVD-RAM書き換え:最大5倍速*76	
通信機能	LAN(ギガビットイーサネット)	―	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T*80、Remote Power On機能装備
	FAXモデム*81	モデム:最大56kbps(V.90、K56flex時)/最大33.6kbps(V.34時)、FAX:最大14.4kbps(V.17時)	
キーボード・マウス	PS/2 109キーボード&PS/2マウス(ボール)	JIS標準配列(英数、かな)、109キーレイアウト、テンキー付き、PS/2インターフェイス、外形寸法:456(W)×169(D)×40(H)mm、質量:約0.9kg、PS/2マウス(ボール式、スクロールボタン付き)添付	

*60: セレクションメニュー中の各オプションは単体販売は行っておりません。
*61: セレクションによっては、再セットアップ用CD-ROMは本体添付されておりません。HDDに格納してある再セットアップ用バックアップイメージ破損や誤って消去した場合などの媒体購入方法はhttp://nx-media.ssnet.co.jpをご参照ください。
*64: ビデオRAM としても使用。
*65: MY25X/R-GおよびMJ25X/R-Gはメモリバス333MHz(PC2700相当)で動作します。
*66: 20GBがNTFS、残りもNTFSでフォーマット済み。また、最後の約2.5GBを再セットアップ領域として使用。ただしセレクションメニューで再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納されておりません。
*67: バッファアンダーランエラー防止機能付き。
*70: コピーコントロールCD等の一部の音楽CDの作成および再生ができない場合があります。
*71: 書き込みツール「RecordNow/DLA」が添付されます。
*72: DVDビデオ再生ツール「InterVideo® WinDVD™ 5」が添付されます。
*74: CD-RWメディアの書き換えにおいて、High Speed CD-RWメディアが使用できます。8倍速以上で書き換えるには、High SpeedCD-RWメディアが必要です。
*75: 内蔵CD-ROM系ドライブを垂直の状態で使用する場合、8cmCDはご利用になれません。
*76: 片面4.7GBのDVD-RAMの速度です。カートリッジタイプのDVD-RAMメディア(TYPE1)はご使用できません。また標準でサポートされるフォーマットはFAT32のみです。
*77: DVD-RはDVD for General Ver2.0に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
*78: DVD-RWは、DVD-RW Ver1.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
*81: 回線状態によっては、通信速度が変わる場合があります。また、内蔵FAXモデムは一般電話回線のみに対応しています。56kbpsは受信時の最大速度です。データ送信時最大33.6kbpsとなります。
*83: HDD内の約2.5GBを再セットアップ領域として使用。これらの「再セットアップ用バックアップイメージ」をCD-R媒体に書き出す場合には、ご購入時にセレクションメニューでCD-R/RW with DVD-ROMまたはDVDスーパーマルチドライブの選択が必要です。
*86: 再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納されておりません。
*89: メモリを拡張する場合は、標準搭載されている増設RAMボードを取り外す必要がある場合があります。
*92: DVD+R2層書き込みはDVD+R(2層)ディスクのみに対応しています。

ギガビットイーサネットLAN

●規格概要

項目	規格概要
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u、IEEE802.3ab
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	1000BASE-T 使用時:1000Mbps
	100BASE-TX 使用時:100Mbps
	10BASE-T 使用時:10Mbps
伝送路	1000BASE-T 使用時:UTP カテゴリ 5e 以上
	100BASE-TX 使用時:UTP カテゴリ 5
	10BASE-T 使用時:UTP カテゴリ 3 または 5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
ステーション台数	最大 1024 台/ネットワーク
ステーション間距離/ ネットワーク経路長※	1000BASE-T:最大約 200m /ステーション間 100BASE-TX:最大約 200m /ステーション間 10BASE-T:最大約 500m /ステーション間 最大 100m /セグメント
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD 方式

※:リピータの台数など、条件によって異なります。

LAN

●規格概要

項目	規格概要
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	100BASE-TX 使用時:100Mbps
	10BASE-T 使用時:10Mbps
伝送路	100BASE-TX 使用時:UTP カテゴリ 5
	10BASE-T 使用時:UTP カテゴリ 3 または 5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
ステーション台数	最大 1024 台/ネットワーク
ステーション間距離/ ネットワーク経路長※	100BASE-TX:最大約 200m /ステーション間 10BASE-T:最大約 500m /ステーション間 最大 100m /セグメント
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD 方式

※:リピータの台数など、条件によって異なります。

無線LAN（IEEE802.11a/b/g）

無線LAN（IEEE802.11a/b/g）は、2.4GHz無線LAN（IEEE802.11b/g）規格と5GHz無線LAN（IEEE802.11a）規格を切り替えて通信することができる無線LANです。 それぞれの無線LAN規格の概要は以下の通りです。
無線LAN（IEEE802.11a/b/g）は、Atheros Communications社が開発したワイヤレス通信の高速化技術「Super AG™」に対応しています。※4

●2.4GＨｚ無線LAN（IEEE802.11b/g）規格概要

項目	規格概要
準拠規格	IEEE802.11g、IEEE802.11b ARIB STD-T66
通信モード	IEEE802.11g：54/48/36/24/18/12/6（Mbps モード）※1 IEEE802.11b：11/5.5/2/1（Mbps モード）※1
変調方式	OFDM 方式（54/48/36/24/18/12/6Mbps モード時） DS-SS 方式（11/5.5/2/1Mbps モード時）
無線チャンネル	1 ～ 13ch
周波数帯域	2.4GHz 帯域（2.4 ～ 2.4835GHz）
セキュリティ	WPA（TKIP/AES） WPA2（AES） WEP（鍵長 64bit/128bit/152bit※2） IEEE802.1X

●5GHz無線LAN（IEEE802.11a）規格概要

項目	規格概要
準拠規格	IEEE802.11a ARIB STD-T71
通信モード	54/48/36/24/18/12/6（Mbps モード）※1
変調方式	OFDM 方式
無線チャンネル	34ch、38ｃｈ、42ｃｈ、46ｃｈ
周波数帯域	5GHz 帯域（5.15 ～ 5.25GHz）※3
セキュリティ	WPA（TKIP/AES） WPA2（AES） WEP（鍵長 64bit/128bit/152bit※2） IEEE802.1X

※1：各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。
※2：設定可能な鍵長は、それぞれ 40bit、104bit、128bit です。
※3：5GHz 無線 LAN の使用は、電波法令により屋内に限定されます。
※4：Super AG™ 機能を使用するには、接続先の無線 LAN 機器も Super AG™ に対応している必要があります。

FAXモデム

適用回線		加入電話回線
ダイヤル方式		パルスダイヤル(10/20PPS) トーンダイヤル(DTMF)
FAX 機能	交信可能ファクシミリ装置	ITU-T G3 ファクシミリ装置
	同期方式	半2重調歩同期方式
	通信規格*[1]	ITU-T V.17:14,400/12,000/9,600/7,200bps V.29:9,600/7,200bps V.27ter:4,800/2,400bps V.21ch2:300bps
	送信レベル	−10〜−15dBm(出荷時−15dBm)
	受信レベル	−10〜−40dBm
	制御コマンド	EIA-578 拡張 AT コマンド(CLASS1)
データモデム機能	同期方式	全2重調歩同期方式
	通信規格*[1]	K56flex:56,000〜32,000bps*[2] ITU-T V.90:56,000〜28,000bps*[2] V.34:33,600〜2,400bps V.32bis:14,400〜4,800bps V.32:9,600〜4,800bps V.22bis:2,400/1,200bps V.22:1,200/600bps V.21:300bps
	エラー訂正	ITU-T V.42(LAPM) MNP class4
	データ圧縮	ITU-T V.42bis MNP class5
	送信レベル	−10〜−15dBm(出荷時−15dBm)
	受信レベル	−10〜−40dBm
	制御コマンド	Hayes AT コマンド準拠*[3]

*1:回線状態によって通信速度が変わる場合があります。
*2:送信時は33,600〜2,400bps になります。
*3:AT コマンドについては、『活用ガイド　ハードウェア編』をご覧ください。

ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
（4）当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、（3）項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
（5）本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
（6）海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
（7）本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows XP、および本機に添付のCD-ROMは、本機のみでご使用ください。
（8）ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
（9）ハードウェアの保守情報をセーブしています。
（10）本書に記載しているWebサイトは、2005年4月現在のものです。

初版 2005年5月

853-810602-181-A
Printed in Japan

このマニュアルは再生紙（古紙率100%）を使用しています。